

官報

號外

昭和九年一月二十八日

○第六十五回帝國議會衆議院議事速記第七號

昭和九年一月二十七日(土曜日)

午後一時十五分開議

議事日程 第六號

昭和九年一月二十七日

午後一時開議

第一 昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

(政府提出) 第一讀會

第二 昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會

第三 滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

(政府提出) 第一讀會

第四 大藏省預金部特別會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第五 會計検査院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
地租法中改正法律案

提出者

松岡 俊三君	菅野善右衛門君
八田 宗吉君	小島 智善君
助川啓四郎君	中野 寅吉君
佐藤庄太郎君	鈴木辰三郎君
守屋 榮夫君	宮澤 清作君
菅原 傳君	佐々木家壽治君
星 廉平君	大石 倫治君
田子 一民君	八角 三郎君
志賀和多利君	小野寺 章君
廣瀬 爲久君	西方 利馬君
高橋熊次郎君	戸田 虎雄君
熊谷 直太君	杉本國太郎君
鈴木 安孝君	小山田義孝君
藤井 達也君	梅村 大君
工藤十三雄君	兼田 秀雄君
壽原英太郎君	丸山 浪彌君
岡田伊太郎君	東 武君
林 路一君	田中喜代松君
佐々木平次郎君	林 儀作君
松實喜代太君	山本 市英君
松尾 孝之君	尾崎 天風君
木下成太郎君	

(以上一月二十三日提出)

民事訴訟法中改正法律案

提出者 竹下 文隆君

營業收益稅法中改正法律案

提出者 小林 鎭君 中谷 貞賴君

木暮武太夫君

司法保護法案

提出者 小林 鎭君 田子 一民君

鳩山 秀夫君 篠原 義政君

手代木隆吉君 一松 定吉君

本田彌市郎君

東京札幌間定期航空輸送開始ニ關スル建議案

提出者 丸山 浪彌君 岡田伊太郎君

林 路一君 林 儀作君

佐々木家壽治君 大石 倫治君

兼田 秀雄君 守屋 榮夫君

稅制整理ニ關スル建議案

提出者 中村 繼男君

(以上一月二十六日提出)

一昨二十六日齋藤內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大藏書記官 廣瀬 豐作

同 荒川 昌二

大藏省外國爲替管理部長 青木 一男

預金部長 川越 丈雄

專賣局長官 佐々木謙一郎

第六十五回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付

司法省民事局長 大森 洪太

司法省行刑局長 鹽野 季彦

第六十五回帝國議會司法省所管事務政府委員被仰付

內務書記官 挾間 茂

第六十五回帝國議會內務省所管事務政府委員被仰付

關東廳內務局長 日下 辰太

第六十五回帝國議會拓務省所管事務政府委員被仰付

一昨二十六日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

二六九 綾部健太郎君

二七四 小山田義孝君

一昨二十六日常任委員補選ノ結果左ノ如シ

第三部選出 中野種一郎君

豫算委員 匹田 銳吉君(平井信四郎君補闕)

第三部選出 君補闕

建議委員 篠原 義政君(服部岩吉君補闕)

第六部選出 川崎 克君(平野光雄君補闕)

一昨二十六日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第七部選出決算委員 匹田 銳吉君

第九部選出決算委員 津雲 國利君

議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマス、第五部選出建議委員

杉山元治郎君常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナキモノト認メテ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ、御届出アランコトヲ望ミマス、尙ホ御諮リ致スコトガゴザイマス、豫算委員長ヨリ、本日本會議中、豫算委員會ヲ開キタイトノ申出ガアリマシタ、尙ホ今後本會議中ト雖モ、同委員會及ビ分科會ヲ開キタイトノコトデアリマス、之ヲ許可スルニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス、日程第一乃至第四ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、日程第二、昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)、日程第三、滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案、日程第四、大藏省預金部特別會計法中改正法律案、右四案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——大藏大臣高橋是清君

第一 昭和九年度一般會計歳出ノ財源

ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

(政府提出) 第一讀會

第二 昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第三 滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案 (政府提出) 第一讀會

第四 大藏省預金部特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一條 政府ハ昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外六億六千九百九十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ昭和九年度一般會計歳出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭和十年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制限額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第一號中改正法律案 昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス

「四億九千九百萬圓」ヲ「六億五千十萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲政府ハ額面五千萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大藏省預金部特別會計法中改正法律案

大藏省預金部特別會計法中左ノ通改正ス 第二條中「事務取扱費」ヲ「下ニ、營繕費」ヲ加フ

附則

本法ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリマシタ昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、昭和九年度一般會計ニ於テ、既ニ成立シテ居リマスル公債法ニ依リ、公債ヲ募集スル金額、竝ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲發行ヲ要スル公債金額ノ外

ニ、歳入ノ不足ヲ補填スル爲六億六百八十餘萬圓ノ公債ヲ發行ヲ必要トスルコトハ、曩ニ昭和九年度總豫算ノ大要ヲ説明致シマシタ際ニ申述ベテ置イタノデアリマスガ、其發行ノ爲ニハ、新ニ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアリマス

尙ホ昭和九年度ノ歳出ニ於テモ、其中若干ノ金額ハ例年ノ如ク、翌年度ニ繰越サルル結果ニナルノデアラウト存ゼラレマスガ、其繰越額ノ財源ハ必シモ九年度内ニ起債スルコトヲ必要ト致シマセヌカ爲メ、翌年度ニ於テ募債シ得ルコト、爲スヲ適當ト認メマス、右ノ理由ニ依リ本法案ヲ提出シタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

次ニ第二ノ議題ニ付テ説明ヲ致シマス、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシタハ、去ル第六十一回、第六十二回及ビ第六十四回帝國議會ニ於テ、其財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行スルコトヲ得ル法律ノ成立ヲ見、之ニ依リ本年度迄ノ經費ヲ支辨シ得ル次第デアリマスガ、昭和九年度分ノ經費トシテ、更ニ約一億五千九百十萬圓ヲ必要トスルノデアリマス、而シテ今日ノ財政狀況竝ニ本經費ノ性質ニ鑑ミ、從來ノ如ク之ヲ公債財源ニ依ルコト、致シマシタ爲メ、現行滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ公債發行ニ關スル法律中ノ發行限度ヲ改正増加スルノ必要ガアリマスノデ、本法案ヲ提出致シタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望スル次第デアリマ

ス

次ニ第三ノ議案ニ付テ説明ヲ致シマス、只今第三ノ議題トナリマシタ滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ、交付スル公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ述ベマスレバ、昭和六年以來ノ滿洲事件ニ關シ、功勞ガアリマシタ陸海軍人等ニ對シマシテハ、此際恩賞トシテ適當ノ一時賜金ヲ賜與セラル、コトヲ必要ト考ヘマス、是等一時賜金ハ、總額約五千四百六十餘萬圓デアリマシテ、此内四千八百七十餘萬圓ハ、公債證書ヲ以テ交付スルコト、致シマスル爲メ、公債ノ發行ヲ要シマス、而シテ右公債ハ、時價ニ依リ交付スルヲ妥當ト認メマシタノデ、發行總額五千萬圓トシ、本案ヲ提出致シタノデアリマス、何卒御協賛アラントヲ希望シマス

第四ノ議案ニ付テ説明ヲ致シマス、大藏省預金部特別會計ノ事業ノ發展ニ伴ヒマシテ、其事業遂行上必要ナル營繕ハ、之ヲ同會計ノ負擔ニ於テ爲サシムルヲ適當ト考ヘルノデアリマシテ、別途昭和九年度ノ豫算ニ計上致シテアリマスル大藏省廳舎新營費ニ付テハ、是ガ財源ヲ負擔セシムルヲ妥當ト認メ、其所要金額ヲ一般會計ニ繰入ル、コト、致シマシタ、且ツ同會計ノ事業ノ狀況ニ鑑ミマシテ、將來新營ノ必要ヲ生ズルコトヲ豫想セラレマスノデ、本法律案ヲ提出致シタル次第デアリマス、御案議ノ上、協賛アラントヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——中村三之丞君

〔中村三之丞君登壇〕

○中村三之丞君 只今上程セラレマシタル公債發行ニ關スル法律案ニ關聯致シマシテ、第一、所謂赤字公債ト財政計畫、第二、公債ノ民間消化力竝ニ日本銀行ノ公開市場政策ニ付テ、高橋大藏大臣ニ御伺致シタイト存ズルノデアリマス

歳入補填公債ハ昭和七年度三億二千萬圓、昭和八年度六億八千萬圓、昭和九年度六億六百餘萬圓、合計十六億六百餘萬圓デアリマス、而シテ吾々ガ直面致シテ居リマスル財政上ノ問題ハ、公債ヲ以テ非常的歳出ニ臨マレト云フコトハ、已ムヲ得ザル事態ト致シマシテモ、第一、如何ニシテ豫算ノ均衡ヲ確保スベキカ、第二、歳出ハ削減セラルベキカ、第三、如何ナル租稅政策ガ行ハルベキデアルカ、第四、如何ナル計畫的統制ニ依リテ現在ノ公債政策ハ運用セラルベキデアラナケレバナリマセヌ、昭和八年度ニ於ケル豫算ハ經常歳入不足ニ於キマシテ、改算豫算ニ依リマスナラバ、八千五百萬圓ニ上テ居ルノデアリマス、然ルニ昭和九年度ハ經常歳出ニ於キマシテ、差引歳入超過百餘萬圓デアリマス、租稅收入ニ於キマシテ八千三百餘萬圓ヲ増加シ、高橋大藏大臣ハ之ヲ以テ我が經濟界回復ニ伴フ自然的増加ナリト説明ヲ加ヘラレテ居ルノデアリマス、而シテ九年度ニ於ケル起債額ハ一般會計ヲ通ジマシテ、八億八千萬圓デアリマス、何レニ致シマシテモ現在ノ財政ガ國防中心デアリ、赤字公債中心デアルト

云フコトハ、是ハ事實デアリマス、我黨ノ小川郷太郎氏ハ我國ノ財政上ニ於ケル恒久的赤字ハ、約三億ニ上ルト推算セラレマシテ、斯ル慢性的赤字ヲ克服スルニ非ズンバ、我國財政ノ基礎ヲ確立スルコトハ不可能ナリトノ見地ニ立ッテ、大藏大臣ニ質問ヲ試ミラレタデアリマス、而シテ増稅其他ノ增收計畫ニ付キマシテハ、大藏大臣ハ其御演說ニ於キマシテ、時機ニアラズト稱セラレ、所謂恒久的對策ニ付テハ、熱意ヲ缺カレテ居ラレモ、如クデアリマス、尤モ一方ニ於キマシテ、大藏大臣ノ御演說中ニハ、今後我が財政ノ前途ニ付テハ、歳入歳出ノ兩方面ニ對シテ、國民ハ忍ビ難キヲ忍ビト云フ、頗ル感情のナ言葉ヲ使、テ居ラレルノデアリマスガ、歳出ノ方面ハ別ト致シマシテ、歳入ノ方面ニ於テ、忍ビ難キヲ忍ビト云フ、此感傷的文字ハ、大藏大臣ガ其衷心ニ於テ、増稅ノ意圖ヲ暗示シテ居ラレルノデアリマスマイカ、果シテ然リト致シマスナラバ、今一步ヲ進メテ、増稅並ニ增收計畫ヲ何時ヤルト明確ニシテ、國民ノ嚮フ所ヲ示サル、ノ意圖ナキヤ否ヤ、私ハ大臣ニ御伺ヲ致シタイノデアリマス

昭和九年度財政計畫ニ依リ發行セラレマスル公債額竝ニ前年度末發行公債ヲ合算ヲ致シマシテ、今後一年間ニ發行セラルベキ公債額ハ、十億萬圓ヲ遙ニ突破シテ居ルト云テ宜イノデアリマス、大藏大臣ハ是等ヲ日本銀行ニ引受ケシメ、而モ必要ニ應ジテ民間ニ消化シ得ル確信ガアテ、豫算ヲ編成シタルノデアルト、小川、町田兩氏ノ質問ニ對シテ明言セラレタノデアリマス、併ナガラ私共ノ見地ヨリ致シマスルナラバ、竝ニ高橋大藏大臣ノ公債政策ノ前途ニ、一ツノ「ジレンマ」ガ横ハッテ居ルノデハナイカト懸念セザルヲ得ナイノデアリマス、公債政策ノ計畫的統制ヲ何處ニ求メラル、ヤ、公債ハ事業界ノ全般的活況ヲ缺キ、預金ガ貸出ニ遙ニ超過シ、遊金多額ニ上リマス時代ニ於テハ、消化ハ容易デアリマセウ、大體ニ於テ昨年度ニ於テハ日本銀行ノ「オーブン・マーケット・オペレーション」ガ無難ノ裡ニ經過ヲ致シマシタノモ、此所ニ理由ヲ發見スルノデアリマス、併ナガラ政府ノ希望セラル、如ク、財界全般ニ活氣ヲ呈シマシタル場合ニ於テハ資金ノ需要起リ、公債ヲ買フ者ガ減ズルト同時ニ、金利ガ上リ低利ノ募集ハ容易デナイト見ナケレバナリマセヌ、斯ル時代ニハ公債額ヲ減少シテ以テ對策ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、我國ノ内外ノ情勢ハ、公債ノ額ヲ滿洲事變以前ノ如ク減ズルト云フ如キハ、今日遽ニ望ムコトガ出來ナイノデアリマス、是ニ於テ高橋大藏大臣ノ公債政策ノ計畫的統制ガ、一ノ割目ヲ生ジテ來ルノデハアリマスマイカ、之ニ付キマシテ大藏大臣ノ御確信ヲ承リタイト存ズルノデアリマス、小川郷太郎氏ノ質問ニ對シマシテ、大藏大臣ハ公債ハ國民ガ應募スルノデアルト仰セラレマシタ、洵ニ其通りデアリマス、併ナガラ唯、單ニ國民ナル文

字ハ餘リニ抽象的デアリマシテ、具體的デアリマセヌ、我國ノ公債ハ其所有者別ニ就テ見マスルナラバ、銀行、保險會社、信託會社ニ於テ其尤ナルモノヲ見ルノデアリマシテ、昭和七年度ノ統計ニ依リマスナラバ、日本ノ銀行ハ內國債ヲ二十二億圓所持致シテ居リマス、保險會社、信託會社ハ約一億圓以上ヲ所有致シテ居ル、我國銀行ノ公債ニ對スル投資率ハ、貸出ニ對シマシテ五〇%ヲ普通ト致シテ居、タノデアリマスケレドモ、最近ニ於キマシテハ、七二%乃至七三%ニ上、テ居リマシテ、我國銀行ハ將ニ公債ニ食傷ノ狀態ニアルト財界ニ於テ唱ヘラレテ居ルノデアリマス、加之財政ノ基礎確立ガ遲レ、大藏大臣ノ言ハレルヤウナ、所謂惡性ノ「インフレーション」ガ起リマスナラバ、金利ハ上リ、公債ノ市價ハ下落シ、今日巨額ノ公債ヲ所持致シテ居リマス銀行會社個人ハ、重大ナル打撃ヲ受ケザルヲ得ナイノデアリマス、高橋大藏大臣ハ此點ニ關シマシテ、如何ナル考ヲ有セラル、カ承リタイト存ズル次第デアリマス

日本銀行ハ昨年十一月ニ其資本金六千万圓ノ十二倍餘ニ相當致シマス七億圓以上ノ公債ヲ、抱ヘテ居ルノデアリマス、今年一月ニ入リマシテ、是ガ、四五億圓ニ減ジテ居リマスコトハ、其所ニ日本銀行ノ公開市場政策ヲ推移ヲ發見スルコトガ出來ルノデアリマス、大藏大臣ハ町田、小川兩氏ノ質問ニ對シマシテ、我國ニ於テハ「インフレーション」ノ如キ「オープン・マーケット」

ト・オペレーション」ハヤ、テ居ラナイト答辯ヲセラレ、公債買入ノ希望者ガアレバ、其理由ヲ聽取シ、之ニ依、テ公債咀嚼ノ力ヲ豫測スルコトガ出來ルト答辯ヲセラレテ居ルノデアリマス、理由ヲ聽取スルコトニ依、テ「スル手續」ニ依、テ民間ノ公債消費力判斷ノ資料トナシ得ルヤ否ヤト云フコトハ疑問デアリマス、銀行ヤ保險會社、信託會社ノ營業ノ狀態、一般財界ノ動向、内外ノ經濟狀態等、大局的見地ニ立、テ見ル必要ハアリハシマイカ、殊ニ最近ニ於キマシテハ、所謂一千九百三十五、六年ノ危機ナル思潮、之ニ伴フ種々ナル言動ガ痛ク財界人ノ神經ヲ刺戟シ、我國財政經濟ノ前途ニ不安ヲ感ゼシメ、公債投資ノ熱ニ一ツノ陰影ヲ生ズル惧ハナイノデアリマセウカ、第六十四回議會ニ於キマシテ、大藏大臣ハ日本銀行ノ公開市場政策ヲ認メラレタノデアリマス、然ルニ今回ノ議會ニ於テハ何故カ「オープン・マーケット・オペレーション」ナル文字ヲ回避セラレテ居ルモノ、如クデアリマス、勿論日本銀行條例ニハ米國聯邦準備法第十四條ノ如キ廣義ノ「オペレーション」ニ關スル規定モアリマセヌ、併ナガラ一昨年以來日本銀行ガ出動ヲ致シマシテ、己ノ創意、己ノ考ニ依、テ公債ヲ賣買致シテ居リマスルト云フコトニ對シマシテハ、是ハ所謂英米ニ於ケル「マーケット・オペレーション」ト云フモノニ該當スト解釋シテ、私ハ誤デハナイト思フ、而モ之ニ依リマシテ我國ノ「インフレーション」ガ統制セラレルト致シマスルナラバ、日本

銀行ノ公開市場政策ハ效果的デア、タト判斷スルコトガ出來ルノデアリマスルガ、今回ノ議會ニ於キマシテハ何故カ之ニ觸ル、ノヲ恐レラレテ居ルモノ、如クデアリマス、而モ財政ノ基礎確立ガ遲レ、依然トシテ公債一點張デ進ムニ至リ、惡性ノ「インフレーション」ガ其頭ヲ擡ゲルニ至リマスルナラバ、此公開市場政策ハ其機能ヲ失シ、恰モ舵ヲ失ヘル汽船ガ大海ニ漂流スルガ如キ運命ニ陥ルノデアアルマイカ、私ハ是等ノ點ニ付テ高橋大藏大臣ノ御意見ヲ承リタイト存ズル次第デアリマス(拍手)

ハ「キリト明言シタラ宜カラウ、斯ウ云フ御意見ノヤウデアリマス、私モ何時カラ増稅ヲスルト云フコトヲ明言致シ得ルコトニナルコトヲ最モ希望シテ居ル、早ク私ガサウ云フコトヲ明言スルヤウナ時ガ來レバ宜イト思、テ居ルノデアアル、凡ソ増稅ヲ圖ルニ於テハ、國民ニソレダケノ、ヨリ重キ負擔ヲ課セルノデアリマスルカラシテ、財政上其重キ負擔ヲ課セル以上ハ、財政ガ立直、テ、最早公債ノ發行ガ是ヨリ増加スル懸念ハナイノダ、此見込ガ立、タカラ茲ニ増稅ヲシテ、財政ノ建直シヲスルノデアアルカラ、其増稅ニ對シテハ國民一般ニドウカ忍ンデ貰ヒタイ、斯ウ云フコトデナケレバ増稅ヲスル意味ヲナサヌノデアアル、一方ニ於テハ増稅ヲシタ、又他方ニ於テハ豫算ノ編成ニ當、テ、益、公債ヲ——詰リ赤字公債ヲ出シテ行カナケレバナラス、而モソレガ減ルト云フコトガ確ニナクシテ、幾ラツツカ殖エルト云フヤウナ懸念ガアリ、又何時頃ニナ、タラバ此赤字公債ヲ發行スル必要ガナクナラダラウカト云フヤウナ見當ガ、凡ソ將來ニ付カナケレバ、私ハ國民ニ對シテ増稅ヲスルト云フコトヲ言フ理由ガ立派ニ立、タナイト思フ、故ニ私ハ其事ヲ明言スル時機ノ少シモ早ク來ランコトヲ祈、テ居ル次第デアリマス、ケレドモ奈何セン、今日ノ内外ノ情勢カラ觀マシテ、マダ其事ヲ何時カラ決行スルカト云フコトヲ明言スル時機ニ達シテ居ラヌト私ハ考ヘテ居ルノデアアル

○議長(秋田清君) 高橋大藏大臣

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 御答ヲ致シマス、第一ハ赤字公債ト財政ニ關シテ、財政ノ收支均衡ヲ圖ル爲ニ歳出入ノ減少、歳入ノ増加、色々ナ方策ガアルガ、歳入ノ方面ニモ忍ビ難キヲ忍ベト言ヘル私ノ言葉ニ付テ、モウ一步進メテ多分ソレハ増稅ノ意味ダラウガ、ソレナラバソレヲ明ニシタラ宜カラウ、増稅ノ實行ヲ明ニシタラ宜カラウト、斯ウ云フ御尋デアリマス、一應御尤ナ御尋ト考ヘマスガ、昨日略、之ニ似寄、タコトハ既ニ當議場ニ於テ御答ヲシテ居ルト私ハ思、テ居ル、詰リ何時マデモ財政ノ上ニ於テ赤字公債ヲ限リナク出サウデハイカヌカラシテ、一方ニ於テハ政費ノ節約ヲ行フト同時ニ、又増稅ヲ圖、テ此増稅ヲシタラ宜カラウ、又増稅ヲスル考モアルラシイカラ、ソレヲ何時カラ増稅スルト云フコトヲ

ハ「キリト明言シタラ宜カラウ、斯ウ云フ御意見ノヤウデアリマス、私モ何時カラ増稅ヲスルト云フコトヲ明言致シ得ルコトニナルコトヲ最モ希望シテ居ル、早ク私ガサウ云フコトヲ明言スルヤウナ時ガ來レバ宜イト思、テ居ルノデアアル、凡ソ増稅ヲ圖ルニ於テハ、國民ニソレダケノ、ヨリ重キ負擔ヲ課セルノデアリマスルカラシテ、財政上其重キ負擔ヲ課セル以上ハ、財政ガ立直、テ、最早公債ノ發行ガ是ヨリ増加スル懸念ハナイノダ、此見込ガ立、タカラ茲ニ増稅ヲシテ、財政ノ建直シヲスルノデアアルカラ、其増稅ニ對シテハ國民一般ニドウカ忍ンデ貰ヒタイ、斯ウ云フコトデナケレバ増稅ヲスル意味ヲナサヌノデアアル、一方ニ於テハ増稅ヲシタ、又他方ニ於テハ豫算ノ編成ニ當、テ、益、公債ヲ——詰リ赤字公債ヲ出シテ行カナケレバナラス、而モソレガ減ルト云フコトガ確ニナクシテ、幾ラツツカ殖エルト云フヤウナ懸念ガアリ、又何時頃ニナ、タラバ此赤字公債ヲ發行スル必要ガナクナラダラウカト云フヤウナ見當ガ、凡ソ將來ニ付カナケレバ、私ハ國民ニ對シテ増稅ヲスルト云フコトヲ言フ理由ガ立派ニ立、タナイト思フ、故ニ私ハ其事ヲ明言スル時機ノ少シモ早ク來ランコトヲ祈、テ居ル次第デアリマス、ケレドモ奈何セン、今日ノ内外ノ情勢カラ觀マシテ、マダ其事ヲ何時カラ決行スルカト云フコトヲ明言スル時機ニ達シテ居ラヌト私ハ考ヘテ居ルノデアアル

ソレカラ第二ニハ、公債政策ニ矛盾ガアルノデハナイカ、ト云フノハ日本銀行ノ此「マーケット・オペレーション」是方將來出來ナクナルダラウ、ト云フノハ是迄日本銀行カラ公債ヲ買受ケテ居ル者ハ、銀行ガ主ナルモノデアル、併シ銀行ハ既ニ公債ニ食傷シテ居ル、將來民間ニ於テ事業ガ發達シ、興リ、新ニ其資本ヲ必要トスル場合ニハ、公債ノ市價ガ下落スル、サウ云フ場合ニハ消化ガ出來ナクナル、ドウスル積リダ、斯ウ云フ譯、ドウモハキリト意味ハ分ラヌケレドモ、マアサウ云フ風ニ聞エル、此日銀ノ「マーケット・オペレーション」ト云フノハ、何カ近頃ニナッテ俄ニサウ云フ方針ヲ執ツタヤウニ仰セデアルガ、是ハ抑、初メカラ此内閣ノ方針トシテ、低金利政策ヲ執リ、ソレト同時ニ日本銀行ノ發行制度ニ付テノ改正ヲ行ヒ、サウシテ公債ノ發行ノ方法モ、一應日本銀行ヲシテ引受シムルト云フコトハ、最初カラ決テ居ル方針デアル、私ハ昨日モ日本銀行ガ今日執テ居ル「マーケット・オペレーション」方法ハ英蘭銀行ノ執テ居ル「マーケット・オペレーション」トハ違フト云フコトヲ申シタ、ソレハ何故違フカ、昨日モ申ス通り、今日、日本銀行ガ市場ニ向テ自ラ進ンデ公債ヲ賣出スト云フコトハシナイノデアル、希望者ガアテ、其希望モ、何ガ爲ニ、ドウ云フ譯デ公債ヲ持チタイノカ、其譯ヲ聞イテ、初メテソレヲ許スノデアル、或ハ其譯ガ國家的ニ考ヘテ宜シクナイト思ヘバ斷ルノデアル、サウ云フ方法ヲ初カラ

執テ居ル、然ルニ此倫敦ニ於ケル英蘭銀行ノ「マーケット・オペレーション」ト云フノハ、御承知デモアリマセウ、倫敦ノ英蘭銀行ニ於テハ「オフィシャル・ブローカー」ト云フモノガアル、即チ中央銀行專屬ノ仲買人ガアル、此仲買人ヲ使テ、所謂市場ニ向テ金融ヲ調整スル爲ニ、或ハ公債證書ヲ自ラ進ンデ賣リ、或ハ自ラ進ンデ買ヒ、或ハ手形ヲ買入レルト云フヤウナ「オペレーション」ヲ常ニスルノデアル、サウシテ此金融ノ統制ヲ圖テ居ルノデアリマス、マダ我が中央銀行ハソコマデハ働キヲ伸バシテ居ラヌノデアル、ソレ故ニ今ノ我國ノ公債ノ發行ノ方法ハ、一方ニ於テハ公債ヲ成ベク相場師ノ資料トナラヌヤウニ、之ヲ汚イ言葉デ言ヘバ、博奕ノ材料ニナラヌヤウニシタイ、ソレカラ一方ニ於テハ此日本銀行ニ對シテ賣テ呉レト言ウテ請求シテ來ル所ノ會社、銀行、個人等ノ買入ノ理由ヲ質スノデアリマス、ソレニ依テ矢張國民ノ公債ノ消化力ノ脈ヲ取ルコトガ出來ルノデアアル、銀行ヤ保險會社等ノ公債ヲ持ツノハ、何カ其銀行ノ金、保險會社ノ金、信託會社ノ金、其モノ、金デ公債ヲ買ウシト御思ヒニナッテ居ルヤウニ受取レタ、是ハ正ニ其人達ノ資力——會社ナリ、銀行ナリノ其資力ニ依テ買フノデアリマスケレドモ、其實フ資力ハ何處カラ出テ來ルカ、皆國民ノ所謂貯蓄デヤアリマセヌカ、銀行預金ハ銀行ノ金ジャナイ、預金者ノ金ナノデス、此國民全體ノ貯蓄ノ力ガ銀行ヤ、保險會社ヤ、

信託會社ト云フヤウナモノニ集テ來ル、其金ヲ以テ日本銀行ヘ公債ノ拂下ヲ請求シテ來ルノデアリマスカラシテ、之ニ依テ矢張國民ノ公債ノ消化力ト云フモノ、大體ヲ測量スルコトガ出來ルノデアリマス、ソレデ前議會ニハ日銀ノ公債市場ノ政策即チ「マーケット・オペレーション」ヲ認メタガ、今回ハ之ヲ否認シタト云フノハ、是ハ事實サウデハナイ、初カラサウ云フ政策方針ヲ執テ居ルノデアル、低金利政策、公債政策ト云フモノハ相竝ンデ初カラ方針ハ變ラヌノデアリマス、大抵是デ盡シタヤウニ考ヘマス(拍手)

○議長(秋田清君) 中村三之丞君宜シウゴザイマス

○中村三之丞君 簡單デアリマスカラ自席カラ御許ヲ願ヒマス

○議長(秋田清君) 宜シウゴザイマス

○中村三之丞君 増税時機ノ早カラシトト明言シタイ希望デアルトノコトデアリマスガ、私共モ其時機ノ早カラシトト希望ヲ有テ居ルノデアリマス、市場政策ナル文字ハ、昨年ノ財政演說ニ於テ大藏大臣ハハッキリ言テ居ラレルノデアリマス、ソコデ私ハ申上ゲタ譯デアリマス、國民ノ貯蓄、銀行預金、是ハ共ニ劃然タル限界ハナカラウト思フ、併ナガラ銀行ガ國民カラ預金ヲ吸收致シマシテ、ソレガ銀行ノ資本トナッテ働ク場合ハ、多少國民ノ貯蓄其モノト違タ働キヲスルモノダラウト思フノデアリマス、故ニ私ハ銀行ノ公債投資力ト云フモノ

ガ、此公債ノ民間消化力ノ重大ナル標準ニナルト申シタ譯デアリマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 成程其點ハ御答ノ中カラ申シ落シタノデス、經濟界ニ活氣ガ出テ來テ、愈々事業資本ガ要ルト云フ時分ニハ、金利ハ高クナルダラウ、其時分ニハ公債ヲ消化スル力モナクナルダラウ、公債モ下ルダラウ、一應御尤ナ考ダガ、私ノ考ハ、即チ今日ハ通貨ト云フモノハ統制通貨デナケレバナラス、勝手次第第二人々ノ自由ニ委ス譯ニハ行カナイ、金利ノ高クナルト云フコトハ、日本銀行ガ正當ナル貸出ヲ澁レバ自ラサウナル、又金利ガ段々安クナルレバ、ソレガ又一ツハ事業ヲ興ス原動力トナルノデアアル、而シテ民間ニ於テ段々事業ガ起テ來テ、事業資本ガ入用トナル、預ケタ金ヲ取ツテ之ヲ其方ノ資本ニ向ケナケレバナラスト云フ時代ニナレバ、洵ニ結構デアアル、其時分ニハドウナル、預テ銀行ハ、其預金ヲ返スノニハ矢張り有テ居ル所ノ公債證書ヲ日本銀行ニ持ッテ來テ、低利ニ金ヲ借りテ、其預金ヲ返ス、斯ウ云フ順序ニナルノデアアル、預金ヲ引出サレテ困ル、一方ニハイツ何時デモ日本銀行ヘ通用スル所ノ公債證書ガアル、即チ公債證書ニ主ニ投資シテ置クト云フノハ、サウ云フ場合ヲ考ヘテ、何時デモ日本銀行ヘ行テ十分ニ通用スルト云フ確信ノアル、安心ノアルモノニ投資シテ置ク、ソレガ今日矢張一面ニ於テハ經

濟界ヲ堅實ニスル一ツノ原因ニナリ居ル、今日又此公債政策ヲ採ラナケレバ、預金ガ殖エ、銀行ハ投資ノ途ニ困ル、知ラズ識ラズ矢張往年經驗シタ如ク、不健全ナモノ、不確實ナモノニ投資スル、一方ニ於テハ利息ヲ拂ハナケレバナラス、已ムヲ得ズ運用シナケレバナラス、確實ナモノガナケレバ、不確實ナモノニモ勢ヒ投資スルヤウナコトニナル、ソレデ又前年ノヤウナ金融界ノ恐慌ヲ來スト云フヤウナコトガ再ビ繰返サレル憂ガアル、先ツ今日ノ有様デ行ケバ、其憂ハ蓋シ起ルマイト考ヘテ居ルノデアアル(拍手)

(中村繼男君登壇)

○中村繼男君 昨ハ只今議題トナテ居リマス公債發行ニ關スル法律案ニ關シマシテ、主トシテ大藏大臣、總理大臣並ニ商工大臣及ビ農林大臣ニ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、此處ニ御出ニナリマセヌ大臣ハ速記録ヲ御覽ニナツタ上デ、適當ノ機會ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

豫算編成ノ根本ノ方針ハ、一國ノ隆昌發展ヲ目途ト致シマシテ、國內のニハ國民ノ各階級ニ對スル生活ノ不安ヲ除キマシテ、人心ノ安定ヲ圖リ、國民ノ全部ガ各、其途ニ安ンジテ、任務ト職業ニ精勵ヲ致シ、農工商ノ各層ヲ通ジテ其繁榮ヲ促スト云フコトニ致シ、又國外ニ對シマシテハ、國防ト外交工作ニ遺憾ナキヲ圖リマシテ、我國ノ國威ヲ發揚スルニ努ムベキコトハ當然ノコトト思フノデアリマス、即チ一國ノ豫算ハ、

技術的ニ收入ト支出トノ辻褄ヲ合セルト云フノガ豫算デハアリマセヌノデ、能ク時局ノ奥底ヲ洞察致シ、動向ヲ觀察致シマシテ、時弊ヲ矯メ、病根ヲ未然ニ防止致シ、以テ國家ノ進運ニ資スルト云フコトガ、豫算本來ノ目的デアルト考ヘルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、本月二十五日小川郷太郎氏ノ質問ニ對シ、高橋大藏大臣ノ答辯ハ、私共ノ同感トスル所デアリマス、即チ大藏大臣ハ、經常ノ歲出ハ經常ノ歲入ヲ以テ賄フノガ至當デアラウト云フ、小川氏ノ御質問ニ對シマシテ「一時、二年三年、經常歲入ヲ以テ經常歲出ヲ賄フコトガ出來ナイト云フ場合、ソレニ代ヘラレナイ重大ナルコトガ國家ニアツタ時ニハドウナルノカ、歲出歲入ノ豫算ノ均衡ヲ保ツノガ、即チ國家ノ生命ヲ保持スル所以デハナイ」と、斯様ニ御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、即チ國家ニ重大ナル問題ガアツタ場合ニ於キマシテハ、國家ノ收支ヲ度外致シ、其事態ニ處スベキ所ノ財政策ヲ執ラナケレバナラスト云フコトヲ示サレタノデアリマシテ、是ハ私共ノ洵ニ同感トスル點デアリマス、果シテ然ラバ大藏大臣ハ、今日只今ノ此非常時ト稱シテ居ル昭和九年度ノ豫算ノ編成ニ當リマシテ、經常收入、支出ノ權衡以外ニ、一般會計ニ於キマシテ、七億八千五百餘萬圓、特別會計ニ於キマシテ一億圓、合計八億八千五百餘萬圓ノ公債ヲ出シテ、是ガ財源ニ充ツルト云フコトヲ御決定ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此點ハ總理大臣及ビ大藏大

臣共ニ御伺ヲ致シタイノデアリマス、此點ハ所謂非常時ニ際會シテ居ル時局ノ公債財源トシテ、是ダケノ金額ヲ以テ所謂國家ノ重大事ニ善處シ得ル所ノ十分ナル金額デアルト御考ニナツテ居ルカドウカ、昭和九年度ノ豫算ハ一部ニ於キマシテハ、是ハ軍備豫算デアナルナドノ批評ヲシテ居ル者ガゴザイマシマスガ、私共ハ必シモ左様ニハ考ヘマセヌ、今ヤ新興ノ日本ガ人種的ニモ、經濟的ニモ、亦文化的ニモ、世界ノ列強ヲ向フニ廻シテ世界的ニ躍進ヲ致サントスル時ニ方リマシテ、其侮ヲ受ケザル程度ニ於ケル軍備、國防ヲ充實スルコトハ、是ハ極メテ必然デアルト言ハナケレバナリマセヌ(拍手)隨テ軍備國防ノ爲ニ高橋大藏大臣ガ、十分ト迄ハ行カナカッタノデアリマスケレドモ、兎ニモ角ニモ相當思切テ財布ノ紐ヲ解カレタト云フコトハ、私共ノ多トスル所デゴザイマス

然ルニ内政諸問題ニ對スル豫算編成ノ狀況ヲ見マス、是ハ又餘リニモ消極的デアリ、退嬰的デアリ、殆ド何等爲ス所ナシドロコデハナイ、却テ國防軍備ニ與ヘタ所ノモノヲ内政ノ豫算カラ削減ヲ致シ、以テ帳面上ノ歲入歲出ノ均衡ヲ圖リタル所ノ、所謂技術上ノ豫算ニ墮シテ居ルト云フ風ニ認メライマス(拍手)是ハ高橋大藏大臣ノ所謂歲入出ノ均衡ヲ保ツノガ國家ノ生命ヲ保持スル所以デハナイカト云フ御言葉ニ對シテ、洵ニ撞著矛盾ヲ來シテ居ルノデハナイカト考ヘルノ

デアリマス、即チ現在ノ農村ノ實情ハドウデアリマスカ、又中小商工業者ノ現狀ハドウデアリマスカ、又中産以下ノ庶民階級ノ狀態、失業者群ノ狀態、是等ノ諸問題ニ對シマシテハ、私共ノ同志デアアル中野正剛氏カラ、去ル二十五日ノ本會議ニ於ケル質問ノ中ニ詳シク述べラレテ居リマスカラ、私ハ再ビ茲ニ申上ゲマセヌガ、唯茲ニ一言ヲ申上ゲタイト思ヒマスルノハ、中小商工業者ノ現狀ニ付テハ、農村ノ疲弊困憊ノ現狀ニ付テハ、ドナタモ十分ニ御承知ニナツテ居リマス、隨テ議會ニ於キマシテモ、開會以來今日マデ殆ド農村問題ノ論議ヲセラレナイ日ハナイ位デゴザイマス、然ルニ中小商工業ノ問題ニ對シマシテハ、殆ド誰モ之ヲ未ダ會テ述べケル者ガナイ(ヒヤ／＼)私共ノ牛輩中野氏ガ此點ニ觸レタキリ、殆ド此點ニ付テ其真相ヲ明カニセラレナイト云フコトハ、私共ハ洵ニ不可解ニ堪ヘナイノデゴザイマス、中小商工業者中、殊ニ都會地ニ於ケル中小商工業者ガ、現在非常ナル困難ニ陥レテ居ルト云フコトハ、是ハ顯著ナ事實デゴザイマス、或人ハ農村ト都會トノ負擔ノ權衡ヲ提唱致シマシテ、都會地居住者ハ農村ノ居住者ニ比シテ負擔ハ著シク輕イト云フコトヲ高調致シテ居ラル、ノデアリマス、勿論私モ總括的ノ意味ニ於テアリマスルナラバ、農村ノ負擔ノ方ガ都會地ヨリモ重イト云フコトニ付テハ、之ヲ承認致ス者デゴザイマス、併ナガラソレハ所謂都會ト云フ大キナモノト、農村ト云フ大キ

デアリマス、即チ現在ノ農村ノ實情ハドウデアリマスカ、又中小商工業者ノ現狀ハドウデアリマスカ、又中産以下ノ庶民階級ノ狀態、失業者群ノ狀態、是等ノ諸問題ニ對シマシテハ、私共ノ同志デアアル中野正剛氏カラ、去ル二十五日ノ本會議ニ於ケル質問ノ中ニ詳シク述べラレテ居リマスカラ、私ハ再ビ茲ニ申上ゲマセヌガ、唯茲ニ一言ヲ申上ゲタイト思ヒマスルノハ、中小商工業者ノ現狀ニ付テハ、農村ノ疲弊困憊ノ現狀ニ付テハ、ドナタモ十分ニ御承知ニナツテ居リマス、隨テ議會ニ於キマシテモ、開會以來今日マデ殆ド農村問題ノ論議ヲセラレナイ日ハナイ位デゴザイマス、然ルニ中小商工業ノ問題ニ對シマシテハ、殆ド誰モ之ヲ未ダ會テ述べケル者ガナイ(ヒヤ／＼)私共ノ牛輩中野氏ガ此點ニ觸レタキリ、殆ド此點ニ付テ其真相ヲ明カニセラレナイト云フコトハ、私共ハ洵ニ不可解ニ堪ヘナイノデゴザイマス、中小商工業者中、殊ニ都會地ニ於ケル中小商工業者ガ、現在非常ナル困難ニ陥レテ居ルト云フコトハ、是ハ顯著ナ事實デゴザイマス、或人ハ農村ト都會トノ負擔ノ權衡ヲ提唱致シマシテ、都會地居住者ハ農村ノ居住者ニ比シテ負擔ハ著シク輕イト云フコトヲ高調致シテ居ラル、ノデアリマス、勿論私モ總括的ノ意味ニ於テアリマスルナラバ、農村ノ負擔ノ方ガ都會地ヨリモ重イト云フコトニ付テハ、之ヲ承認致ス者デゴザイマス、併ナガラソレハ所謂都會ト云フ大キナモノト、農村ト云フ大キ

アモノト比較シタダケノ話デアル、其細部ニ立入り、内部ニ立入テ研究サレタ結果ノ比較論デハナイト私ハ考ヘル、即チ中産以下ノ人々ノ階級ト云フモノハ——都會地内ニ於ケル中産階級以下ノ人々ノ負擔ト云フモノハ、殆ド農村ノ負擔ト比較シテ、決シテ讓ル所ナシト私ハ考ヘテ居ル者デア、勿論此負擔ト申シマスルノハ、唯私ハ形ノ上ニ現ハレマシタル所ノ國稅デアルトカ、或ハ市町村稅ノ如キ形式的ノモノヲ集メテ負擔ノ均衡ヲ茲ニ論ジテ居ルモノデハナイ、都會地ニ於キマシテハ、先ヅ家賃ノ形ニ於テ轉嫁サレテ來マス所ノ地租、或ハ家屋稅ガアルト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、又電單代デアルトカ、自動車代デアルトカ云フヤウナモノハ、是ハ或ル意味ニ於ケル所ノ必要ナル一種ノ交通稅ニナリテ居ルノデアリマス、又毎日使用致シマスル所ノ水ノ如キニサヘモ、水道料ト云フモノヲ拂ハナケレバ、之ヲ使フコトガ出來ナイト云フヤウナ結果カラ考ヘテ見マスルナラバ、都會地居住者ノ中、就中中産階級以下ノ人々ノ負擔ト云フモノハ、必シモ農村ニ劣テハ居ラヌト言ハナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ私共ガ此處デ注意ヲシナケレバナラヌト考ヘマスノハ、都會地ノ中小商工業者ニ對スル庶民金融機關ト云フモノガ、今日全ク缺如ヲ致シテ居ル、此爲ニ中小商工業者ハ輕易ニ自分ノ資金ヲ調達スル所ノ途ヲ持タナイ、已ムヲ得ズ高利ノ日歩ヲ借りナケレバナラヌト云フヤウナ境遇ニ

置カレテシマフノデアリマシテ、日歩十錢デアルトカ、二十錢ハ愚カ、或ハ三十錢、五十錢ト云フガ如キ、非常ナ殺人的ノ此高利ノ爲メ、殆ド營業利益ノ大部分ハ利子ノ爲ニ持テ行カレテ、尙且ツ足ラナイト云フヤウナ窮狀ニアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアアル(拍手)加之都會地ノ營業ハ、御承知ノ如ク大資本ノ跳梁跋扈ノ爲ニ、年々歳々其業務ノ範圍ト區域トヲ縮小サレテ參ルノデアリマス、是ガ爲ニハ遂ニ業ヲ奪ハレ、職ヲ失ヒマシテ、一家一族ヲ舉ゲテ全部失業ノ群ニ入ルト云フヤウナノガ、今日比々皆然リト謂ハナケレバナリマセヌ、大藏大臣ハ「インフレ」景氣ハ必シモ上層階級バカリノ景氣デハナイ、中産階級以下ニ對シテモ浸潤シツ、アルト云フコトヲ明言シテ居ラル、ノデアリマス、又陸海軍大臣ハ、軍需「インフレ」ノ餘澤ヲ受ケル者ハ必シモ大資本家バカリデハナイ、申以下ノ工業者ニモ此恩澤ニ浴セルヤウニ施設ヲ執、テ居ルト言ウテ居ラル、デアリマスガ、現在ノ實情ハ必シモ決シテサウデナイ、即チ御言葉ハ結構デアリマスケレドモ、ソレハ中産階級ト云フ中ト云フモノ、眼ノ著ケ所ガ、私共ハ違フト考ヘル、モウ一步下ニ考ヘテ御出デニナッタナラバ、寧ロ軍需「インフレ」ノ恩惠ヲ受ケル者、或ハ軍需品ノ注文ヲナルト云フヤウナ者ハ中以上デアル、其中以下ノ者ニ至リマシテハ、此軍需「インフレ」ノ爲ニ、決シテ今日恩惠ヲ蒙、テ居ルト云フヤウナ狀態ニハ

ナ、テ居リマセヌ、而モ是等ノ人口ガ都會ニ於ケル所ノ人口ノ大部分ヲ占メテ居ルト云フコトニ考ヘ到リマシタ時ニ、都會地ニ於ケル所ノ中小商工業者ノ境遇ハ、自ラ歷然タルモノガアルデアラウト考ヘルノデゴザイマス、即チ私ハ中小商工業者バカリノ肩ヲ持ツ者デハナイ、農村ノ問題ニ付テハ皆サンガ、或ハ大藏大臣モ、其他ノ關係ノ方々モ十分御存ジデアラウカラ、私ハ中小商工業者ノコトヲ特ニ茲ニ申上ゲタノデアリマスガ、即チ農民モ中小商工業者モ今日ノ現狀ハ殆ド同ジ狀態デアル、而モ此農民及中小商工業者ト云フモノガ、日本國ニ於ケル所ノ最モ大切ナル國民ノ中堅層ヲ成シテ居ルト云フコトヲ、私共ハ考ヘナケレバナラヌ、此中堅ノ層ニ罅ガ入り、是ガ崩壊ヲスルト云フヤウナ現象ガ現ハレルト致マシタナラバ、是コソ實ニ山々シキ社會問題デアリ、國家ノ大問題デアルト言ハナケレバナラヌノデゴザイマス(拍手)

然ルニ今日ノ狀況ハドウカ、今日モ此東京市內ノ各地ニ於テ、中小商工業者ガ悲鳴ヲ舉ゲテ居ル、或ハ運動ノ方法ヲ協議シテ居ル、農村ノ代表者ガ集、テ東京會館ニ來テ此狀況ヲ吾々ハ何ト見マスカ、即チ此儘ニ放任シテ置クコトガアッタナラバ、折角關係諸君モ、陸軍大臣モ、非常ナル骨折ヲ以テ作ラレマシタ所ノ折角ノ此軍備外交モ、背後ヨリ崩壊シナイト誰ガ斷言スルコトガ出來マセウカ、軍務當局ノ方ガ先日モ此席ニ於テ明言ヲ致サレタ如ク、此農村或ハ中小商工業ノ問題ニ付テ深憂ヲシテ居ルト云フコトヲ言ハレタコトハ、洵ニ私ハ當然ノコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク非常重大ナル事柄ハ、高橋大藏大臣ノ所謂ハ國家ノ重大ナル事項ニアラズシテ何ゾヤト私ハ言ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)果シテ然ラバ、總理大臣竝ニ大藏大臣ハ、國家ノ大問題ニ對シマシテ、關係國務大臣ト相圖、テ豫算上ノ收支均衡問題ノ如キハ姑ク之ヲ措置イテ、其對策ニ付テモウ一段ノ最善ノ方法ヲ講ゼラル、ノ御覺悟ハナイノデアリマスガ、ドウデスカ、然ルニ豫算ノ上ニ現レタル數字ヲ眺メテ見マスルト、農村救済ノ問題ニ付テハ既ニ皆樣ガ御承知ノ通り、私ガ此處デ敢テ申スマデモナイノデアリマスガ、前年來ノ豫算ニ對シテ一大削減ヲ加ヘラレテ居ル、丁度首縊リノ足ヲ引張ルガ如キ豫算ノ組方ヲヤ、テ居ラレルトデアリマス(拍手)又中小商工業者ニ對スル所ノ對策ト致シマシテハ、商工省ノ豫算ニ依、テ眺メテ見マスル、中小商工業者ノ助成ニ關スル經費ナルモノト致シテ、豫算ニハ上、テ居ルコトハ居リマスガ、其金額ニ至、テハ如何、驚ク勿レ僅ニ四十一萬圓、二十一億圓ノ總豫算ニ比シテ、此中小商工業者ノ爲ニ使ハル、所ノ商工省ノ御金ガ僅ニ四十一萬圓、九牛ノ一毛モ程ガアル、斯ノ如キ狀態デハ、中小商工業對策ヲ確立シ得タリト御考ニナ、テ居ルカドウカ(拍手)斯ノ如キ遺方ハ、獨リ國民ヲ愚弄ス

ルト云フバカリニ止マテヌ、却テ其反動氣分ヲ助長スルノ虞ナシトシナイト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)以上述べタル所ヲ以テシマスレバ、畢竟昭和九年度ノ豫算ナルモノハ、軍備國防費シタ所ノモノヲ内政諸問題ニ對スル對策ノ拋棄カ、又ハ削減ニ依テ之ヲ補ヒ、歳入出ノ均衡ヲ圖リタル技術上ノ豫算デアリ、机上ノ豫算デアルト云フコトヲ斷言シテ憚ラヌノデアリマス(拍手)之ニ對シ總理大臣及ビ大藏大臣ハ此必要性質ト、時局ヲモウ一度御考直シテ願フテ、國債ヲ増額致サレ、以テ此重大時機ニ善處セントスルノ御覺悟ガナイノデアルカドウカ(拍手)

又農村問題ニ付テハ五相會議ノ結果ト致シマシテ、追加豫算トシテ提案セラレルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、勿論其財源ハ國債ニ依ラナケレバナラヌコトデアルト信ズルモノデアリマスガ、一體ソレハドノ位ノ邊ニ落付イテ居ルノデゴザイマスカ、此點大藏大臣並ニ後藤農林大臣ヨリ御答辯ヲ願ヒタイト思フ者デゴザイマス、尙ホ農村問題ト同様、都會地ノ中小商工業者ニ對スル對策モ、現在示サレタル豫算額、即チ四十一萬圓ノ如キニ至テハ、是ハ町村役場ノ豫算位ノモノシカナイ、斯ノ如キ金額ヲ以テ、其對策ガ立チ得タトハ、ヨモヤ商工大臣モ御考ニナテハ居ラレマイ、サウデアアルナラバ、之ニ對シテモ適當ナル追加豫算等ヲ以テ、其對策ヲ講ゼラレル所ノ用意ガアルカドウカ、此點モ一ツ御伺ヒテ致シタイ

ト思フノデアリマス

次ニ私ハ稅制整理ノ問題ニ於キマシテ、是ハ主トシテ高橋大藏大臣ニ御伺フ致シタイト思フノデアリマス、大藏大臣ハ先程モ中村三之丞君ノ質問ニ對シテモ左様デアリマシタガ、大藏大臣ハ度々本議場ニ於キマシテ、數次ノ質問應答デ、稅制整理ハ今日景氣ガ稍、好轉セントスル先デアルカラ、之ヲ斷行スルト云フコトハ、丁度經濟界ノ茅ヲ摘ムヤウナモノデアルカラ、其時機デナイト云フコトヲ繰返シテ御答辯ニナテ居ルノデアリマス、併シ私ニハドウモ其意味ガ諒解出來マセヌ、一體近來ノ租稅制度ト云フモノハ何ヲ目標トシテ、眼目トシテ制定ヲシナケレバナラヌカト云フコトニ付テ、大藏大臣ハ何カ確平タル信念ヲ御有チニナテ居ルデアラウカドウカ、之ヲ私ハ疑ハザルヲ得ナイ、私ハ此租稅制度ノ問題ヲ解決スルト云フコトデアアルナラバ、一體制度改廢ノ目標ハ何處ニ置カ、先ヅ其目標ヲ原則的ニ決メテ行カナケレバ、中々其結論ハ得ラレナイノデハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ル、色々目標ニモ種類ガゴザイマセウ、所謂景氣ノ助長ヲ以テ目的トスルカ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスナラバ、資本金ノ利益増進、助長ヲ目標トシテ制定スベキモノデアアルカドウカ、又第二ト致シマシテハ、國家ノ費用ヲ賄フニ足ルベキ金額ノ徵收ヲ目標トシテ、租稅制度ト云フモノハ決メルベキモノデアアルカドウカ、又其他ノ意味ニ於テ——其他ノ意味ト云フノハ、私ハ

此處社會政策ト云フ意味ヲ含シテ居ル積リデゴザイマスガ、其他ノ意味ヲ含メタル意味ニ於テ、租稅制度ト云フモノハ制定スベキモノデアアルカドウカ、私ノ考ヘル所ヲ以テ致シマスナラバ、勿論租稅制度ノ根本義ハ、國費ノ調達ヲ圖ルト云フコトハ、是ハ申スマデモナイ話デアリマス、併ナガラソレト同時ニ其徵收ノ方法ナリ、或ハ賦課ノ目標等ニ付テ、今日動トモスレバ深刻ナル社會問題トナラントシテ居ル所ノ、貧富ノ懸隔ヲ調節スベキ社會政策的ノ使命ヲ、十分ニ其目標ノ中ニ織込シテ行クト云フコトガ、近代租稅制度ノ最モ大切ナル部分デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)此使命ヲ沒却致シマシテ、資本主義ノ擁護ニ流レテ、國民ノ下層階級ニ對シマシテ無統制ニ負擔ヲ命ズルト云フヤウナコトガゴザイマシタナラバ、是ハ租稅制度本來ノ使命ヲ完ウセザルノミナラズ、是ガ爲ニ却テ社會全般ヲ、動亂ノ巷ニ導クト云フヤウナコトニナラヌトモ限ラヌト思フノデアリマス、此意味カラ高橋サンノ言ハレル、今日漸ク經濟界ノ芽ガ出掛テ居ルノデアアルカラ、今ハ増稅ノ時期デナイト云フ言葉ヲ、其儘拜聽致シマスルト云フト、如何ニモ租稅制度ナルモノハ、資本金ノ利益増進ヲ目標トシテ制定ヲシナケレバナラヌヤウニ聽カレノデアリマシテ、是ハ洵ニ私ハ遺憾千萬デアルト存ズルノデアリマス(拍手)今日ノ社會ノ現狀ガドウデアアルカ、特ニ昨今ノ「インフレ」景氣ヲ中心ト致シマシテ考ヘテ見

マシテモ、其恩澤ニ浴シテ居ル者ハ、國民ノ極メテ小部分デアアル所ノ一部ノ資本金デアリマス、其他ノ國民ノ大多數ニ至リマシテハ、先程モ申シマシタ通り農民ト言ヒ、中小商工業者ト言ヒ、或ハ中以下ノ庶民階級ト言ヒ、非常ニ窮乏困苦ノ狀態ニナテ居ルコトハ申スマデモイ次第デアリマス、而シテ我國ノ軍需「インフレ」、今日ノ景氣デアアル所ノ此「インフレ」景氣ヲ以テ致シマシテハ、今日起テ來テ居ル所ノ社會不安、言葉ヲ換ヘテ言フナラバ、一部ノ資本金ハ利益ヲ致スケレドモ、他ノ者ハ儲カラナイト言フ其弊害ハ、此「インフレ」景氣ヲ以テシマシテハ、私ハ到底之ヲ償フコトハ出來ヌト考ヘテ居ル、今日「インフレ」景氣ヲ助長セシメラレタコトハ結構デアアル、結構デアアルケレド、中野正剛氏ノ言ハレタ通り、所謂今日ニ於キマシテハ此被害者ト云フモノガ非常ニ出來テ居ル、此非常時利益者ト非常時被害者トハ、此「インフレ」景氣ヲ其儘進メテ行ク所デ、調和スルコトガ出來ナイト云フコトデゴザイマスナラバ、之ニ對スル所ノ何等カノ對策ヲ取ラナケレバナラヌト云フコトハ、社會問題ノ解決上極メテ必然的デナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、資本主義、自由主義ヲ其儘放漫、無條件ニ是認スルコトニ依テ生ジマス所ノ弊害ガ如何ニ大デアアルカト云フコトハ、私ガ此處デ申スマデモゴザイマセヌ、隨テ國家ノ權力カ、或ハ資本金ノ自省力、何レニセヨ何等カノ統制力ニ依テ是ガ統制ヲ圖リ

マシテ、其由テ生ズル貧富ノ懸隔ヲ最小限度ニ縮小シテ行カケレバナラヌト云フコトハ誰方モ是ハ異存ハナイ筈デアルト私ハ思フ、此意味ニ於テ私共ハ國民同盟ニ於キマシテ、此意味ヲ言ヒ現ハス言葉ヲ、統制經濟ト云フ名ヲ藉テ居ルノデゴザイマス

然ルニ世ノ中ニハ食ハズ嫌ヒトデモ申ス者モ多イト見エマシテ、吾々ノ統制經濟ナル所ノ觀念ヲ、恰モ社會主義者ノソレト同一ニ見テ、資本主義ヲ否定シ、私有財産制度ヲ否認セントスルモノデアルカノ如ク曲解ヲ致シ、又ハ曲辯ヲ致ス者モナキニシモ非ズデアリマス、併シ斯ノ如キハ所謂其人ノ無智カ、然ラザレバ所謂黨派根性カラ出タ所ノ陋劣ナル感情論デアルト思ヒマスカラ、敢テ私ハ茲ニ辯明ハ致シマセヌガ、私共ノ統制經濟主義ト云フモノハ資本主義ヲ認め、又私有財産制度ヲ認めマスルガ、故ニ、其資本主義ヲ放漫ニ運用スルコトニ依テ生ズル貧富ノ懸隔ヲ調和センガ爲ニ、國家權力ノ動員ヲ行ハントスルノガ、私共ノ統制經濟ノ原理デアリマス、併ナガラ此處デ私ハ統制經濟ノ講義ハ致シマセヌ、私ガ所謂統制經濟ト此處デ言ヒマスガ、其統制經濟ノ目標ナルモノハ、此場合ニ於テハ

主トシテ産業統制ノコトヲ申上ゲタノデアル、所謂産業ノ公益統制ト云フノガ其意味デゴザイマスルガ、産業ト公益統制ダケデ、然ラバ資本主義ノ弊害ト云フモノヲ十分ニ矯メ得ルカト申シマスルト、是ハ到底私ハ完全ニハ出來ナイト云フコトヲ考ヘテ居ルモノデアリマス、即チ重要産業ノ統制ハ出來マセウ、或ハ部分的ノ統制ハ出來マセウ、電氣或ハ鐵道、交通、織物ト云フヤウナ工合ニ、或ル程度マデノ統制ハ出來マセウガ、如何ニ統制力ヲ以テ致シマシテモ、極ク細部ノ所マデ網ヲ張テ統制ヲ行フト云フコトハ極メテ困難デアル、是ニ於テ其資本主義ノ弊害ヲ矯メルベキ所ノ最終的ノ手段ト致シマシテハ、統制經濟ノ外ニ、所謂統制經濟ノ觀念ニ立脚シタル所ノ租稅制度、言葉ヲ換ヘマスレバ、強度ノ社會政策ヲ加味シタル所ノ租稅制度ヲ實行スルコトガ極メテ緊切デアリ、必要デアルト私ハ感ズル者デゴザイマス

以上ノ見解ニ基キマシテ、前ニ申述べマシタルガ如ク、國民層ニ今ヤ一大斷層ヲ現出セントシテ居ルガ如キ今日ノ現狀ニ鑑ミマシテ、一日モ早ク租稅制度ノ改廢ヲ具現セナケレバナラヌト云フコトヲ感ズルノデアリマス、況ヤ租稅制度ノ改廢ニ依リマシ

テハ、相當ノ增收ヲ見込ムコトモ出來マセウ、サウデアラタナラバ小川郷太郎氏ノ御心配ニナテ居リマシタヤウナ、又今日中村君カラ御質問ノアリマシタヤウナ、公債發行ニ關スル、消化力ニ關スル御心配モナクナリマセウ、又歳入歳出ノ均衡モ容易ニ之ヲ保持スルコトガ出來ルヤウニナルノデアリマシテ、社會ノ現狀カラシテモ、社會ノ要求カラ致シマシテモ、亦豫算運用ノ上カラ申シマシテモ、此機會ニ於テ租稅制度ノ改廢ヲ實行セラル、コトガ、最モ絶好ノ機會デアルト考ヘテ居ルノデゴザイマスルガ、大藏大臣ハ是デモ尙ホ何時カ分ラナイト云フヤウナ曖昧ナコトヲ申サレルカドウカ、此點ヲ承リタイノデアリマス

最後ニ私ハ本年ノ歳入見積ノ點ニ付キマシテ御尋ヲ申上ゲタイノデアリマス、昭和九年度ノ豫算ニ依リマスルト、九年度ノ歳入見積中ニ、租稅收入ハ七億七千五百餘萬圓トナッテ居ルノデアリマスガ、其内容ヲ檢討シテ見マスルト云フト、所得稅ノ中デ第一種所得稅ニ付テハ、昭和七年度ノ決定高ノ三割増ト云フコトヲ以テ本年度ノ豫算額ト致サレテ居ルノデアリマス、然ルニ第三種、即チ個人ノ所得ニ付テハドウデアルカト申シマスルト、昭和八年ノ決定額ニ對シテ

僅ニ税金ニ於テ一割増トシテ計算シテアル、是ハ甚シク片手落ノ計算ノ仕方デハナカラウカト私ハ思フ、營業收益稅、即チ法人ノ營業收益稅及ビ個人ノ營業收益稅ニ付テモ、同ジ比率ヲ以テ歳入ノ見積ヲヤッテアルノデアリマスガ、法人ガ三割モ増スノデアルナラバ、個人ノ營業收益稅乃至第三種所得稅ニ付テモ、相當ノ増加歩合ヲ見込ムノガ至當デハナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、即チ此點カラ致シマシテ、所得ニ於テ個人ノ方ガ一時二割増スト致シマス、其稅額ハ累進的ニナリマスル結果、個人ノ所得稅ハ恐ラク二割内外ノ増徴ナルガ自然デアリマセウ、營業收益稅モ亦サウデアリマス、又酒造稅以下ノ消費稅ニ付キマシテハ、一律ニ昭和八年九月マデノ前一箇年ノ五分増ヲ以テ豫算ニ計上シテアルノデアリマスガ、一體法人所得稅ヲ以テ景氣ノ「バロメーター」ト致サレマシテ、三割ノ増加ヲ見込ムニ拘ラズ、此消費稅ニ付テハ僅ニ五分シカ増サヌト云フコトハ、是亦不均衡ノ甚シイモノデアルト言ハナケレバナラヌノデアリマス、若シ茲ニ酒會社ガアタト致シマシテ、酒會社ノ所得稅ハ三割増スガ、酒ノ消費稅ハ五分シカ増サヌト云フコトガアリマセウカ、麥酒會社ニ付テモ其通り、

是ハ一例デアル、斯ウ云フヤウニ頗ル其見積ガ少イ、過少ニ過ギルノデハナイカト云フコトヲ申上ゲザルヲ得ナイ、私ガ之ヲ適當ニ計算シテ見マス、租稅收入ニ於キマシテ五千万圓内外ノ歳入見積過少ガアルト云フコトニナルノデアリマス、其他金額ハ少イノデゴザイマスガ、日本銀行ノ納付金ニ於キマシテ、前年ニ對シテ二百餘万圓ノ減少ヲ見テ居ルノデアリマス、國民ノ總テノ階級ニ於テ税金ハ増加シ、總テノ官業收入モ増加シテ居ル今日ニ於キマシテ、獨リ日本銀行ノ納付金ヲ二百萬圓減ラスト云フコトハ何事デアルカ、勿論公債ノ賣却益ガ減タトカ、色々ナ理窟モアリマセウ、併ナガラ日本銀行ノ計算ノ内容ト云フモノハ、ソソナニ毎年フラ／＼シテ、利益ガ出タリ出ナカタリスルヤウニハナッテ居ラヌ筈デア、隨テ若シ之ニ對シテ二百萬圓ノ減トシテ大藏省ガ査定ヲ致シマスルナラバ、必ズヤ之ニ從フヤウニ日本銀行ハ決算ヲ持ッテ來マセウ、サウスレバ今年二百萬圓ノ免稅ヲ日本銀行ニヤッテヤルゾト云フコトヲ、豫算ニ依ッテ指令ヲ與ヘタト云フヤウナ結果ニナル、此點ハ金額ハ小デアリマスガ、事柄ガドウモ私共トシテハ贊成致シ兼ね、尙ホ商工大臣ニ御尋致シマスケレドモ、所

謂製鐵所ノ合同ニ依ル清算殘餘金ト云フモノガ、其繰入金ハ七百萬圓計上シテアルヤウデアリマス、併シ今日マデ蓄積セラレテ居ル所ノ製鐵所ノ殘餘金ガ七百萬圓ダト云フコトハ、如何ニモ私共ニハ受取リニクイ、斯ノ如キ問題モ、日本銀行ノ問題ト同様デス、相手ガ大資本家デアリ、大資本見積ヲシテ居ラル、ト云フガ如キコトハ、國民ノ思想上ニ及ボス所ノ影響モ相當デナクチヤナラスト考ヘルノデアリマスカラ、ドウカ此點ハハッキリト御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

翻テ見マスルト、昭和八年度ニ於キマシテ、自然増收ノ爲ニ約一億萬圓ノ歳入超過ヲ豫想セラル、ト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、隨テ八年度ノ既定公債發行額モ一億萬圓見當ノ發行ハ、其必要ガナクナルデアラウト云フコトヲ私ハ信ジテ居リマスガ、是ハ國家ノ爲ニ自然増收ガアタト云フコトデアリマシテ、國家ノ爲ニ慶賀ノ至リデハゴザイマスルガ、併シ一面カラ之ヲ考ヘテ見マスルト、昭和八年度ノ歳入見積ガ過少デアタト云フコトヲ、是ハ裏書シテ居ル、即チサウデアリマシタナラバ、本年度ニ於キマシテハソソナ過少ニナ

ラヌヤウニ、所謂歳入歳出共ニ適實ニ之ヲ計算スルト云フコトカラ申シマスナラバ、先程申シマシタガ如ク、少クトモ四五千万圓ノ租稅收入ダケニ於テノ見積減ガアルト云フコトニナルノデアリマス、サウデアルトスルナラバ、此四五千万圓ノ金ガアタナラバ、内閣ニ於テ五相會議ナドト云フ大人ラシクナイ内輪喧嘩ナドハ止メテ、此四五千万圓ヲ農村問題乃至ハ中小商工業者ニ對シテ投出サレタナラバ、私ハヨリ一層有意義ナ豫算編成ガ出來タデアラウト信ジテ疑ハナイノデアリマス(拍手)之ニ對シマシテモ大藏大臣ノ御考竝ニ農林大臣、商工大臣ノ御考ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス(拍手)

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 中村君ニ御答ヲ致シマス、先ヅ最初ハ刻下ノ急務ニ應ズル爲ニ出來タ豫算ダガ、果シテ九年度ノ豫算ト云フモノ、是デ農村ノコトヤ中小商工業者ノ難儀ヲ救フト云フ、ソレニ十分ダト思ヘルカ、如何ニモ軍事上ノコトニ付テハ、多額ノ金ガ積テアルガ、農村ノ救済事業等ノ金高ハ殆ド無イト云フ位ニ仰シヤイマシガ、勿論豫算ニ上ッテ居ルカラ、私ガ此處デ説明スル迄モナイヤウナモノデアリマスケ

レドモ、先ヅ此地方ノ時局匡救ノ事業トシテハ、用排水ノ助成金——何レモ皆是ハ助成金デアリマス、唯政府ノ金ガ出レバ、中央カラ金ガ出レバ、ソレ／＼地方又ハ町村ニ於テ、其負擔ガ矢張加ハル譯ナノデアリマス、開墾ノ事業モ、矢張是モ助成金、暗渠排水ノ事業モ、是モ矢張助成金、全部政府ガ持ツト云フモノデハナイ、而シテ之ニハ既定ノ分ガアルノデアリマス、即チ普通ノ分デハ、既定ノ分ガ八百四十六萬圓餘アル、是迄モナクナッタヤウニ往々世間デハ思ヒ、大體運動員ナドガ出テ來テ言フ所デハ、總テコンナモノハ皆打切ラレタト考ヘテ居ルガ、コンナモノヲ打切ラレタハ、是ハ國家ノ義務デアリマス、ソレカラ又時局匡救、農業土木費ノ中ニ、今申上ゲタ用排水、開墾事業、暗渠排水、是ハ皆助成金デアリマス、是モ既定ノ分ガアルノデアリマス、八百四十六萬圓ト云フ既定ノ分ガアル、今年ニ至ッテ之ニ新規ニ増加シタノガ二百九十五萬圓アルノデアリマス、全ク顧ミヌト云フ譯デハナイ、ソレ／＼矢張調査ヲシテ、必要已ムヲ得ザルモノガアルガ爲ニ、新規ノモノモ拾置カレナイモノハ、豫算ニ出シタ譯デアリマス、ソレデ農林省ノ方ノコトハ今頻リニ事務ノ方デ互ニ調ベテ居リマ

ス、ドウシテモ捨道キ難イ、捨テ、置イテ
ハイカヌト云フ、已ムヲ得ナイモノハ、追
加豫算ヲ出スト云フコトニナリテ居リマス、
併シマダ其金額幾何ト云フコトハ定マツテ
居リマセヌ、今研究取調中デアリマス

ソレカラ第三ニハ租税ノ制度、之ヲ整理
スルニ付テ其目標ハドウダ、其目標ハ詰リ
社會政策ト近來謂フ所ノ其モノモ加味シテ
考ヘナケレバナラヌ、又一方ニハ貧富ノ懸
隔ヲナクシナケレバナラヌト云フ論モアル
ケレドモ、是ハ實際無理ナ話デアアル、併シ
貧富ノ懸隔ノコトニ付テモ、十分ニ思フ凝
サネバナラヌ、然ルニ大藏大臣ハ資本主義
ノ擁護ニ傾イテ居ルト云フヤウナ御疑ガア
ル、何レハ租税ノ制度ノ改正ヲスルニ當
リマシテハ、私ノ目標トシテ居ル所ハ負擔
ノ均衡ヲ重ンズルノデアリマス、負擔ノ均
衡ヲ重ンジテ制度ヲ設ケル以上ハ、資本主
義ダトカ、或ハ社會主義ダトカ云フヤウナ
コトハナクナルノデアアル(拍手)豫テ申ス通
リ是モ餘程古イ話デスガ、私ハ一體富ト云
フモノハ何ニアルノカト考ヘテ見タ、富ハ
金デアアルノデモナイ、銀ニアアルノデモナイ、
米バカリニアアルノデモナイ、ト云フノハ或ル
場合ニハ金モ銀モ米モ役ニ立タヌ場合ガア
ル、國ノ富ト云フモノハ、ドウシテモ國民

ノ働ク力ニアアル、勞務ニアアル、勞務得尊イ
モノハナイノデアアル、然ルニ從來資本ニ酬
ユル所ノモノト、勞務ニ酬ユル所ノモノト
其均衡ガ失ハレタカラ、茲ニ初メテ勞務ノ
争ガ起テ來タノデス、元來勞資ト云フモ
ノ、間ニ於テハ、對峙シテ喧嘩フベキモノ
デハナイ、如何ニ人間ノ勞務ガ尊イト申シ
テモ、蓄積シタ所ノ資本ナクシテ、ドウシ
テ進歩ガ出來ルカ、又如何ニ富ヲ積ンダカ
ラト言フテ、人間ノ勞務ガナクテドウシテ富
ガ役ニ立ツカ、無イモ同ジコトデアアル、サ
ウスルト此資本ト勞務ト云フモノハ、車ノ
兩輪ノ如キモノデアテ、互ニ喧嘩スベキ
モノデヤナイ、此鬭争ノ起タ原因ハ何カ
ト申スト、只今申シタ通り資本ニ對スル報
酬ガ厚クシテ、人間ノ勞務ニ對スル報酬ガ
薄カタカラ、茲ニ初メテ鬭争ガ起テ來タ
ノデアアル、之ヲ是認シテ、何時マデモ對峙
シテ喧嘩サセテ行クト云フノガ、所謂惡イ
意味ノ社會黨ノ目的デアアル(拍手)サウ云フ
コトハ我國トシテハ採ラヌノデアアル、ソレ
故ニ税制ノ改正ヲスル、租税ノ制度ヲ改メ
ルト云フ時ニ於テ、何ヲ目標トスルカト云
ヘバ、負擔ノ均衡、是ヨリ外ニナイノデア
アル

第四ニ、第一種ノ所得稅ト第三種ノ所得

稅ハ、其見積方ガ違フテ居ル、消費稅ノ見積
トノ間ニ差ガアルトカ、日銀ノ納付金モ見
積ガ少イトカ、色々御批判ガアリマシタガ、
是等ハ皆技術的ニ此見積ヲ爲シタルモノデ
アリマシテ、是ハ詳細ノコトハ委員會ニ於
テ、其技術的ノ説明ヲ事務的ニ申上ゲタ方
ガ宜カラウト思ヒマスカラ、此處デハ此上
ハ申シマセヌ(拍手)

(國務大臣男爵中島久萬吉君登壇)

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 中村君カ
ラ中小商工業者ノ狀況ニ關シテ御質問ガ
ゴザイマシタガ、私ガ屢、當議場デ申上
ゲテ居リマス通り、單ナル商工省ノ豫算ヲ
以テ致シマシテ、中小商工業者ノ救済ヲ徹
底致シマスルコトハ、到底出來ナイノデゴ
ザイマス、御案内ノ通り幸ニ、昨年度ヨリ
豫算ノ關係上、軍需工業ニ投セラレマスル
所ノ金額ガ莫大デアリマスルガ故ニ、此軍需
工業ニ投下セラレマスル政府ノ資本ヲ、出
來得ル限り中小商工階級ニ浸透セシメンガ
爲ニ、私共ハ昨今殊ニ陸海軍當局ト協議ヲ
致シマシテ、軍需品ノ註文ヲ直接ニ都會ノ
中小商工業者、更ニ進ンデハ家内工
業者ニ發セシムルヤウニ努力ヲ致シテ
居リマス、斯ノ如クニシテ、政府ノ支
出致シマスル軍需工業品ノ金額ガ、中小商

工階級者ニ徹底致スコトガ出來ルヤウニ相
成リマスレバ、自然是等ノ關係業者モ潤ヲ
受クルコトニ相成リマスルガ故ニ、特ニ此
點ニ向テ今後共努力ヲ致ス考デゴザイマ
ス、尙ホ製鐵所カラ來年度ノ歲入豫算ニ對
シテ七百萬圓ヲ提供致シマシタコトニ付テ
ノ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ此度日本製
鐵株式會社ノ創立ニ際シマシテ、製鐵所カ
ラ流動資産トシテ提供致シマスル殘額ヲ、
此際歲入豫算中ニ繰入レマシタニ過ギマセ
ヌノデアリマシテ、大藏當局者トノ協議ノ
結果ニ依リタノデゴザイマス、是ダケ御答致
シマス

(中村繼男君登壇)

○中村繼男君 只今大藏大臣カラ、農村ノ
問題ニ對シテノ豫算ガ少イノデハナイカト
云フ私ノ質問ニ對シマシテ、御答辯ニナタノデ
アリマスガ、ソレハ私ノ質問ト少シの外レノ
御答辯ガアタヤウデゴザイマス、大藏大臣
ハ地方費ガアタカラ相當ニ是デ賑カニナルト
カ、開墾助成金ガ六百萬圓バカリアルトカ、用
排水費用ガ幾ラアルトカ、私ハサウ云フコト
ヲ御聽シテ居ルノデハナイノデス、現在ノ
農村ノ窮狀ト云フモノハ、私ガ此處デ申上
ゲル必要ガナイ、此狀態ニ對シテこそ五相
會議ノ問題モ起テ居ル、或ハ内閣ガ危機ニ

陷ルノデハナイカト云フヤウナ噂マデ生シ
ダ所ノ、是ハ大問題デアリマス、此問題ニ
對シテ、現在ノ豫算額ダケデハ不十分デア
ル、追加豫算デ幾ラ出スカ分ラヌガ、何ト
カシヨウト云フヤウナ御心持ノヤウデアリ
マス、斯ノ如キ大問題ヲ決スル爲ニハ、私
ハ今日只今マデマダ其金額ガ分ラサイト云
フヤウナコトデハ、是非常ニ熱心ヲ缺ク、
誠意ヲ缺クモノデナイカト云フコトヲ言ハ
ザルヲ得ナイ、サウシテ其金額モ亦今日マ
デ決テ居ラヌ、斯ノ如キコトハ、内閣ノ國
務大臣ノ各位モ、私ハ此問題ニ對スル所ノ
熱意ガ頗ル缺ケテ居ルノデハナイカト云フ
コトヲ言ハザルヲ得ナイノデアリマス、恐
クハモウ既ニ私ハ内部ニ於テハ御決マリニナ
テ居ルコトダラウト思ヒマスカラ、其金額
ヲ御示シ願ヒタイ、私ハ五百万圓ト云フ話
モ聞イテ居リマス、恐ラクソソナコトデナ
カラウト思ヒマスガ、其程度ニ付テモウ一
遍私共ノ安心ノ行クヤウニ御明示ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、ソレカラ租税問題ニ付テ大
藏大臣ハ私ノ質問ニ對シマシテ御明答ヲ與
ヘラレマシタ、即チ負擔ノ公正ヲ主トスル
ト云フコトガ租税制度ノ使命デナクテハナ
ラヌ、是ハ固ヨリ其通りデアリマス、私モ
同感デス、サウデアアルナラバ現今ノ狀況ニ

照シマシテ、何故ニ今日租税制度ノ改廢ヲ
スルト云フコトガ尙早ダト云フ議論ガ起
テ來ルカ、今日中小商工業者竝ニ農民、農
民ト都會、資本家トサウデナイ者、其負擔
ノ均衡ガ案レテ居ルト云フコト、是ハ大藏
大臣モ御承知ノ筈デナケレバナラヌ、今日
案レテ居ルガ爲ニコソ、因テ生ジテ居ル今
ノ農村問題アリ、或ハ社會問題ガ起キテ來
テ居ル、サウデアアルナラバ此時ニ當テ一
日モ早く租税制度ノ改廢ヲ行ハレルトカ、
負擔ノ均衡ヲ圖ルトカ云フ、大藏大臣ノ御
言質ニ全ク合致スルノデハナイカト私ハ考
ヘル、ソレヲ昨日ハ商工業ノ芽ガ漸ク出掛
ケタバカリノ時デアアルカラ、其芽ヲ摘ムコ
トハ宜シクナイ、時機ニ非ズト言フ、今日
ハ負擔ノ均衡ヲ圖ルノガ主ダト云フ、何方
ガ本當デスカ、負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコ
トハ、洵ニ私ハ大藏大臣ト心持ヲ同ジクス
ル者デアリマス、サウデアアルナラバ所謂増
税——私ハ敢テ増税トハ申シマセヌガ、税
制整理斷行論、是デ行クノガ時局ヲ救フ最
モ捷徑デアルト私ハ考ヘテ居ル、サウデア
ルナラバ何故此點ヲ實行ナサル御決心ガ
付カナイノデアアルカ、之ヲモウ一遍御伺ヲ
致シタイ

ソレカラ中小商工業者ニ對スル問題デゴ
ザイマスガ、商工大臣ハ自分ノ力ヲ以テシ
テハ中小商工業者ノ救済ハ覺束ナイト云フ
ヤウナコトヲ言ハレル、是ハ國務大臣トシ
テ私ハ呆レタ御言葉デナイカト思フ、少ク
トモ中小商工業ノ責任者トナッテ而モ、國務
大臣トナッテ居ラレル方ガ、困ルナラバ勝手
ニ困レ、俺ノ知ツタ所デナイ、斯フ云フコト
デ一體國務大臣ノ地位ガ勤マルカ、私ハ洵
ニ残念ナコトヲ聽イタモノダト思フ、サウ
シテ仰シヤルコトガ軍需「インフレ」ニ賴ッテ
居ル、所謂陸軍省ガ其「インフレ」景氣ヲ作
テ呉レル、其「インフレ」ノ中ニ挾テ居ル、
寄生蟲ミタイナ恰好ニナッテ居ル、是デハ私
ハ中小商工業者ガ商工大臣ニ御頼リ申シテ
居テモ、失望スル筈デアルト言ハザルヲ得ナ
イ、モウ一遍是ハ御考ヘニナッテ戴キタイ、勿
論軍需「インフレ」景氣ト共ニ、中小商工業者
ヲ救済シテ行ク方法ハ幾ラモアリマセウ、
立法ノ方法ニ於テモアリマセウ、即チ中小
商工業者ヲ壓迫シテ居ル「デパート」ニ對ス
ル問題ノ如キ、之ヲ法制化スルコトニ依ッテ
モ、幾ラカ壓迫ヲ緩和スルコトモ出來マス、
唯金バカリガ能ダトハ私ハ此處デ申シテ居
ルノデハナイ、併ナガラ只今申サレルヤウ
ニ、初カラ投ゲテ掛ッテ居レバ是ハ問題外デ
アル、併ナガラ私ノ申シマスルノハ必シモ

金ノコトバカリデハナイガ、此金ノコトモ
デス、唯二百カ幾ラノ商業組合ト三百幾ラ
ノ工業組合、サウ云フモノニ對シテ僅カ三
百圓カ四百圓カノ補助金ヲ出シタト云フコ
トダケデハ、私ハ商工大臣トシテ中小商工
業者ノ爲ニ、少クトモ親切ヲ盡シタト云フ
コトサヘモ言ヘナイデハナイカ、斯様ニ考
ヘテ居ルノデゴザイマス、ドウカ此點ニ付
テモウ一遍御答辯ヲ願ヒタイト思フ、尙ホ
製鐵所ノ特別會計ヨリ繰入レラレタル七百
萬圓ハ、是ハ大藏當局トモ相談ノ上決メ
タ金額デアアル、斯様ニ仰シヤイマスガ、勿
論左様デゴザイマセウ、私ノ素人ノ常識、
考カラ致シマシテモ、其金ガ七百萬圓ドコ
ロデアラウトハ考ヘラレナイ、此意味ニ於
ケル疑惑ヲ解イテ戴キタイ、今日マデ續イ
テ來テ居ルアノ製鐵所ガ、七百萬圓シカ國家
ニヤラヌ、アトノ殘ハ皆合同會社ニ持ッテ行
ク、サウスルト何ダカ國家ガエライ寄附金ヲ
附ケテ合同會社ヲ作ッテヤルヤウナ心持
モシナイデハナイ(拍手)斯ウ云フ點ニ付
キマシテハ、所謂思想問題トモ絡ム問題
デゴザイマスカラ、ドウカモウ少シ親切ニ
其内容ヲ御説明願ヒタイト思フノデアリマ
ス(拍手)

〔國務大臣高橋是清君登場〕

○國務大臣(高橋是清君) 重ネテ御答致シ

マスガ、税制ノ改正ノコトニ付テ、私ガ時機デナイト云フコトヲ昨年カラ申シテ居ル、昨年モ矢張丁度今財界ガ段々恢復シテ芽ノ出ル所デアルカラ、今負擔ヲ重クシテ、折角芽ノ出ルモノヲ摘ムヤウナコトハシタクナイト云フコトハ、例ニ申シタニ違ヒナイ、併シ今年ニ至ラデハ、モウ少シ突込

ンデ私ノ考ヘテ居ルコトヲ言ウタ、政治ト云フモノハ言語デナイト云フコトヲ古人モ言テ居ル、實行如何ヲ顧ミルト云フコトハ大切デアル、行爲ヲ先ニシナケレバナラヌ、已ムラ得ヌカラ言語ニ出ルノデアアテ、言語ニ發スル前ニ先ヅ行爲ト云フモノガ現レナケレバナラヌ、言語ガ先ニ立テ行爲ガ後ニナルカラ、色々苦情ガ起ル(拍手)丁度芽ノ出テ來タ所ダト云フコトハ、矢張時機デナイト云フコトニナルノデアアテ、今日ハ未ダ其時機ニ非ズト言テ居ルノトチトモ變ラナイ

ソレカラ只今申シタ改正ノ目標ヲ何處ニ置クカト言ハレ、バ負擔ノ均衡ニ置ク、是ハ改正ノ目的トシテ、私ガ目標ヲ初テ言フンデセウ、是ハドウシタテソコニ來ナケレバナラヌ、ソレナラバ負擔ノ均衡ガ必要ト

感ズレバ、何故今日不權衡ニナテ居ルモノ

ヲ直グ改メナイカト仰シヤル、是亦時機ニ非ズ(笑聲、拍手)時機ガ來テ改正スル時ニハ、何ヲ目標ニシテ改正スルカ、負擔ノ公平ヲ目標トシテ改正スル、斯ウ申スノデアリマス

〔國務大臣男爵中島久萬吉君登場〕

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 私ガ言葉

ノ言ヒ足リナイ關係カラ、再度ノ御尋ヲ蒙リマシテ、洵ニ恐縮デゴザイマスガ、私ガ豫算ニ付テ申上ゲマシタ意味ハ、政府全體ノ關係ニ於テ、商工業者ヲ救フベキモノガ大ニアル、即チ政府ノ事業費ガ出來得ル限リ中小商工業者ノ懷ニ入ルヤウニ致シタイ、即チ差當リ軍需工業ナドニ於キマシテ、其軍需工業ニ支出サレマス所ノ政府ノ金ガ、中村君ノ仰セラレル通りノ空廻リヲ致サナイヤウニ、是ガ中小ノ商工階級ニ浸透スルヤウニ取計フコトニ依テ、即チ政府全體ノ企業計畫ニ依テ、中小商工業者ガ潤フヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

ソレカラ製鐵所ノ特別會計カラ歲入豫算ニ七百万圓ヲ繰入レシマコトニ付テ再度ノ御尋デゴザイマスガ、其殘額ハ政府ノ株式

トナテ新會社ニ投セラレタノデアリマシテ、ソレガ悉ク只デ新會社ニ渡シタト云フ理由ニハナラナイノデアリマスカラ、大藏省ノ都合ニ依リマシテ、從來製鐵所ノ特別會計中ニゴザイマシタ流動資産中ノ七百万圓ヲ、現金ヲ以テ一般會計ニ繰入レ、殘餘ハ株式トシテ新會社ニ投ズル、斯ウ云フ關係ニ相成ツクノデゴザイマス

○中村總男君 簡單デアリマスカラ、自席カラ發言ノ御許シヲ願ヒマス

○議長(秋田清君) 宜シウゴザイマス

○中村總男君 高橋大藏大臣ハ此稅法改正ノ時機ニ付キマシテ、今ハ結局其時機デハナイ、併シ趣旨ハ負擔ノ均衡ニ置クベキモノデアルト云フコトヲ言ハレマシタ、私ハ是ハ兩立シナイ議論デアルト思フ、今日ノ時局ト云フモノヲ本當ニ透視ラシテ、直視ラシテ見ルナラバ、負擔ノ不公平今日ヨリ甚シキハナイト言ハザルヲ得ナイト私ハ考ヘル、負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトデア

ルナラバ、是ハ即時斷行論デナケレバナラガ少シ出テ來タカラ、隨テ今之ヲヤルノハ芽ヲ摘ムヤウナモノダト云フコトハ、負擔ノ均衡ヲ構ハナイデ、所謂資本家ノ利益擁護ニ走ル議論デアルト思フ、是ハ大藏大臣

ハ玉手箱ノ玉ノヤウニ、片方宛ニ見テ居ラレケレドモ、信念ハ二ツデアル、デアルカラドウシテモ時機デナイト云フコトハ時局ニ對スル認識ガ足リナイカ、負擔ノ不均衡ヲ正スノ誠意ナキモノナリト認メザルヲ得ナイ

尙ホ商工大臣ノ七百万圓問題ニ付キマシテハ、勿論全部只デヤルトハ考ヘテ居リマセヌ、株式ニ換價スルコトハ當然デアリマス、ソコニ株式ノ評價ノ問題ガ起テ來ルダラウト思ヒマス、只デヤルカラドウ斯ウト云フコトハ申シマセヌガ、即チ五十ノモノヲ百ト評價スルカ、七十ノモノヲ百ト評價スルカト云フノハ茲ニ存スル、隨テ其内容ニ於テ——言葉ヲ換ヘテ言フナラバ、他ノ會社ノ爲シタル純財産トノ比較、ソコマデ行カナケレバ株式ノ問題乃至七百万圓ガ相當デアルカ、國庫ニ繰戻シタコトガ相當デア

○議長(秋田清君) 栗原彦三郎君

〔栗原彦三郎君登場〕

○栗原彦三郎君 私ハ只今日程ニ上テ居

リマス滿洲事件費ニ關聯致シマシテ、極ク簡單ニ總理大臣、陸軍大臣、拓務大臣、商工大臣ニ對シテ御尋申上ゲタイト存ズルノデアリマス

第一ニ總理大臣ニ對シテ御尋申上ゲマスルノハ——總理大臣ハ居リマセヌカラ、私ノ速記ヲ讀ミマシテ、適當ノ機會ニ此壇上カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ニ總理大臣ニ御尋致シマス點ハ、今滿洲國ニ於ケル内外ノ實情ヲ考察致シマスルト、軍事工作ノミヲ行フベキ時代デハナクナッテ、經濟工作並ニ政治工作ヲ盛ニ行ハナケレバナラス時代ト相成ッテ居ルト存ズルノデアリマスルガ、而モ我國ノ政府ハ滿洲ニ對スル政治工作並ニ經濟工作ノ上ニ於テ、見ルベキ仕事ヲ殆ド一ツモ致シテ居ラナイノデアルガ、是ハ一體ドウ云フ譯デアアルカト云フ御尋ヲ致スノデアリマス、何故ニ斯様ナ御尋ヲ致スカト申シマスレバ、私滿洲國ガ出來シテカラ後モ、數回彼地ニ參リマシテ、可ナリ詳シク各方面ノ調査ヲ致シタ積リデアリマスルガ、一度ハ一度ヨリ滿洲國ノ形態ガ整ヒ、滿洲國ノ治安ガ段々維持サレテ參リ、我國多年ノ希望デアリマシタ所ノ、國家ノ生命線ガ確保セラレテ行キマスコト、竝ニ日滿兩國共ニ存共榮ノ途ガ開ケテ參リ

マスルコトハ、洵ニ慶賀ニ堪ヘナイノデアリマスルケレドモ、而モ此間ニ於テ洵ニ遺憾ニ堪ヘマセヌノハ、最早經濟工作ガ盛ニ行ハルベキ時機トナリ、政治工作ガ盛ニ行ハルベキ時トナッテ居ルノニ拘ラズ、何レノ地點ニ於テモ、殆ド是ガ日本政府ノ政治工作デアリ、經濟工作デアリ、之ニ依ッテ日滿兩國民ノ共存共榮ノ途ガ實現セラル、モノデアルト云フノヲ、見ルコトガ出來ナイノヲ、甚ダ遺憾トスル者デアリマス（拍手）此故ニ總理大臣ハ、我國ノ政府ハ滿洲國ニ對シテ斯様ナ經濟政策ヲ行フモノデアアル、又行ハントスル抱負經綸ヲ持ッテ居ルモノデアアル、又滿洲國ノ政治工作ニ對シテモ、斯様ナ計畫ヲ持ッテ居リ、斯様ナ抱負ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ、此演壇ノ上ニ於テ明ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、滿洲國ノ出現ニ對シテ非常ニ喜ンデ居リマシタ國民ノ一部ニハ、滿洲國ノ治安ガ維持セラレ、滿洲國ノ形態ガ整備シ、將ニ溥儀氏ガ皇帝ノ位ニモ登ラントスル迄ニナッテケレドモ、日本國民ハ之ニ依ッテ寸毫ノ利益ヲ得ルコトガ出來ナイデハナイカト云フノデ、非常ノ期待ヲ持ッテ居ッタノガ、却テ失望ニ陥ラントスルヤウナ者モアルノデアリマスルカラ、政府ハ國民ニ對シテ左様ノ事ノナイヤウ

ニ、十分ノ希望ヲ持タシムルダケノ御説明ガアッテ然ルベシト存ズルノデアリマス（拍手）

次ニ陸軍大臣ニ御伺致サント欲スル所ハ、滿洲國ニ於ケル皇軍ノ威信ハ、飽マデ之ヲ維持スルコトニ努メナケレバナラナイト存ズルノデアリマス、何故ニ斯ク申スカト申シマスレバ、滿洲國ニ居ル滿洲國民ノ中ニモ、亦滿洲國ニ多數居リマスル露西亞人、或ハ其他ノ外國人ノ中ニモ、滿洲國ガ尙ホ幾年カノ後ニ、多少ノ變リガアルノデハナイカト云フ疑念ヲ持ッテ居ル者モアリ、更ニ又列國ハ日本ハ滿洲國ニ對シテ如何ナル熱心ヲ持ッテ居ルノカ、日本ノ軍部ハ滿洲國ニ對シテ如何ナル決意ヲ持ッテ居ルノデアアルカト云フコトヲ知ラント欲シテ居ル者モ、無キニシモアラズト存ズルノデアリマス、滿洲ニ於ケル皇軍ノ一舉手一投足ハ、直チニ滿洲國ノ興廢、竝ニ世界ガ日本ノ決意ニ對スル所ノ大ナル注目トナッテ居ルノデアリマス、然ルニ軍部ニ於キマシテハ、滿鐵ガ滿洲事變以前ハ其經營ヲ誤ッタ爲ニ、殆ド支那鐵道ノ爲ニ其營業權ヲ奪ハレテ、殆ド瀕死ノ狀態ニアッタト云フヤウナモノガ、滿洲事變ノ御蔭デ澤山ノ利益ガ擧ゲラレルヤウニナッタ、而モ再ビ滿洲事

變ズト以前ノ、所謂滿鐵全盛時代、即チ滿鐵ノ社員ニアラズンバ人ニ非ズト云ッタヤウナ、我が忠誠ナル軍人ノ如キハ殆ド彼等ノ番犬ノ如ク扱ハレテ、吾々ガ滿洲ヲ旅行シテ悲憤慷慨ノ淚ヲ流サセラレタ、アノ狀態ト同ジヤウニシヨウト考ヘテ居ル一部ノ資本家モアルノデアリマス、之ニ對シテ軍部ガ斷然トシテ、最モ合法的ナ統制經濟ノ理論ヲ應用シ、滿鐵ニ向ッテ一大改組案ヲ行ハント致シマシタコトハ、國民ノ最モ歡迎シタ所デアアルノニ拘ラズ、何故力躊躇逡巡シテ、其計畫ヲ未ダニ實現セシメナイト云フニ至リマシテハ、皇軍自ラ侮ルモノデアッテ、斯様ナコトデハ皇軍ノ威信ト云フモノガ、本當ニ中外ニ行ハレナクナルノデハナイカト存ズルノデアリマスルガ、陸軍大臣ハ如何ニ御考ヘニ相成リマスルカ、御伺申シタイノデアリマス、又軍部ノ一部ノ少壯ノ軍人、或ハ郷軍等ガ、時ニ軌道ヲ逸シタ言論ヲ爲シマスルト云フコトガ一ツノ導火線トナッテ、日本國民ノ一部ニハ其非ヲ蔽ハンガ爲ニ、故意ニ軍部ニ對シテ非難ノ聲ヲ向クル者モナキニシモアラズト存ズルノデアリマスルカラ、此意味ニ於テモ陸軍ハ大ニ慎重ナル態度ヲ執ッテ、飽マデ皇軍ノ威信ヲ中外ニ維持センコトヲ希望スルモ

ノデアリマスガ、陸軍大臣ハ如何ニ御考ヘニナリマスルカ、御伺申シタイノデアリマス

次ニ拓務大臣竝ニ商工大臣ニ御伺申シタイノハ、滿洲國ニ於テ日滿共存共榮ノ實ヲ舉ゲント致シマスルニハ、滿洲國ニ於テ我國ガ大ニ經濟工作ヲ行フヨリ外途ガナイト存ズルノデアリマスルガ、ソレニハ最モ完全ナル日滿經濟協約ヲ結ブ必要ガアルト存ズルノデアリマス、今滿洲國ハ既ニ形態ヲ完備シ、將ニ溥儀氏ガ皇帝ニモ即カントスルマデニ發達シタノニ拘ラズ、我國ノ政府ハ、滿洲ニ於テ、商人ガ滿洲ニ行ッテ商業ヲ始メントスルニモ、其商業ノ權益ヲ擁護スル所ノ協約モナク、滿洲ニ於テ工場ヲ起サントスルニ對シテモ、工場ヲ擁護スル所ノ何等ノ協約モナシ、或ハ鑛山事業ヲ行ハントシテモ、ソレニ對スル協約モナク、土地ヲ所有シ、土地ヲ開發セント致シマシテモ、之ニ對スル何等ノ協約モ出來テ居ラナイト云フノデ、是ガ爲ニ日本ノ資本ガ滿洲ニ入ラズ、本當ニ日本人ガ滿洲ニ於テ經濟工作ヲスルコトガ出來ナイノデアアル、然ルニ或ハ佛蘭西、或ハ英吉利、或ハ露西亞等ノ資本家、若クハ支那ノ資本家ガ却テ歐羅巴人ノ名ヲ藉リテ事業ヲ興サントスル者

ガ既ニ相當出テ來タノニ、我ガ日本國民ハ指ヲ卿ヘテ見テ居ラナケレバナラナイト云フ狀態ニ相成テ居ルノデゴザイマスガ、一體拓務省ナリ、商工省ナリハ何ヲシテオキデニナリマスルノカ、此國民ノ熱烈ナル要望ニ對シテ、何事モ爲サラナイノハ如何ナル事情デアルカ、御伺申シタイノデアリマス(ヒヤ／＼「拍手」)

(國務大臣林銑十郎君登壇)

○國務大臣(林銑十郎君) 栗原君ノ只今ノ御尋ノ中デ、軍部ニ關係ノアル所ヲ御答致シマス

第一、滿洲ノ狀態ハ今日經濟發展ノ方ニ向フベキ時機デハナイカト云フ御質問デアリマスガ、關東軍司令官ハ、只今三位一體ノ立場カラ著々經濟發展ノ方ノ研究ヲシ、實行ヲサセテ居ル次第デアリマス、今後益々其方面ニ進ンデ行クコト、信ジテ居リマス

第二ノ滿鐵改組案ノコトニ付キマシテハ、昨日モ御答ヲ致シタ通りニ、目下滿洲ニ於ケル現地ノ狀況ヲ斟酌シマシテ、適當ナ法案ヲ立テルベク研究中デゴザイマシテ、只今マダ之ヲ發表スル機會ニハ達シテ居リマセヌ

第三ニ御話ニナリマシタ陸軍ノ威信ヲ保ツ云々ノ點ニ付キマシテハ、是モ昨日明瞭

ニ今日及將來ニ於ケル陸軍ノ立場ヲ申上ゲデアリマスルノデ、盡キテ居ルト考ヘマス、之ヲ以テ御答ト致シマス(拍手)

(國務大臣男爵中島久萬吉登壇)

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 日滿經濟上ノ關係ニ於ケル只今ノ栗原君ノ御質問ハ、實ニ御尤ト思ヒマス、私モ此點ニ於テハ自然滿洲ニ於ケル事態ノ推移ニ照シマシテ、計畫ヲ樹テ、其實際ノ施設ニ著手スベキモノト思ヒマスガ、ソレガ爲ニ日滿兩國ノ間ニドウ云フ機構ヲ設クルコトガ必要デアリマセヌケレドモ、兎ニ角日滿經濟ノ統制ニ關シマシテ、今一步ノ進ンダ施設ヲ必要ト致シマスルコトハ、勿論ノコトデゴザイマス、此度滿洲ガ帝國ト相成リマシテ、自然其間ニ於テ日本ノ資本ヲ滿洲ニ流入セシムルガ爲ニ、從來ニ比シテ一層ノ便宜ヲ有スルニ至ッタト存ジマスニ於テ、今後日滿經濟統制ニ付キマシテハ、十分ニ研究モ致シ、尙ホ實際ノ施設ニ付テハ更ニ大ニ努力セント欲スル次第デゴザイマス

○栗原彦三郎君 簡單デスカラ自席カラ申シマス、御答辯ハ満足致シマセヌガ、何レ特別委員會及ビ豫算總會ニ於テ御尋致シタイト思ヒマス、是デ私ノ質疑ヲ終リマス

○議長(秋田清君) 質疑ハ終リマシタ日程第一乃至第四ノ四案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木電三郎君 日程第一乃至第四ノ議案ヲ一括シ、議長指名二十七名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第五、會計検査院法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——政府委員法制局長官黒崎定三君

第五 會計検査院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

會計検査院法中改正法律案 會計検査院法中左ノ通改正ス

第二條中「副検査官專任二十員」ノ下ニ「理事官專任四員」ヲ加フ

第三條中「及副検査官」ヲ「副検査官及理事官」ニ改ム

附則

本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員黒崎定三君登壇)

○政府委員(黒崎定三君) 只今上程ニ相成

リマシタ會計検査院法中改正法律案ノ提案
理由ヲ申上ゲマス

會
報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散

御承知ノ通り現在ノ會計検査院ニ於キマ

午後三時十七分散會

スル検査ニ關スル事務竝ニ庶務ヲ處理致シ
マスルガ爲ニハ、同院ノ院長、部長、検査

官ヲ始メ、ソレ以下ソレノ所要ノ職員ヲ

配置致シテ居ルノデゴザリマスルガ、尙ホ

現在ヨリモ一層同院ノ検査事務竝ニ庶務ノ

進捗ヲ圖リ、能率増進ヲ圖リマスル趣旨ヲ

以テマシテ、今回本案ヲ以テ同院ニ検査事

務竝ニ庶務ヲ司ル爲ノ高等官デアリマスル

理事官四人ヲ、新設シャウト致スノデゴザ

リマス、極メテ簡單ナ案件デゴザリマスル

カラ、何卒御審議ノ上、速ニ御協賛アランコ

トヲ御願致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ノ審査ヲ付託スヘ

キ委員選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ議長指名九名ノ委

員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議

アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——是ニテ

日程ノ議事ヲ終リマシタ、次會ノ日程ハ公

衆議院議事速記録第六號中正誤

頁	段	行	誤	正
九七	二	一一	司法	同法
九九	二	二五	思ヒス	思ヒマス
一一七	三	一七	御答	御話